

あゆみ

Vol.51 No.2
平成28年3月18日



表紙写真 「ミヤマホオジロ」(牧の池どうぶつ病院 鈴木克弥先生)

ミヤマホオジロはその可愛い姿と色彩から人気の冬鳥です。

夏場は中国や朝鮮半島で繁殖し、秋になると日本に飛来して越冬します。

梅の花が咲くころになると再び海を越えて繁殖地を目指します。

中国では大気汚染等の環境破壊が問題になっていますが、わずか16cmの小鳥が命がけで日本海を越えて飛んで来る事を考えると、越冬先の日本は彼らにとって良い環境であり続けたいと願うばかりです。

表紙題字 故 芝 田 松太郎 氏
(名古屋市獣医師会 元会長)

あゆみ Vol.51 No.2

巻頭言 鑑札・狂犬病予防注射済票交付委託スタートに向けて

	(公社)名古屋市獣医師会会長 荻曾敏之 ……	1
平成27年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事・監事 ……		3
平成27年度 狂犬病予防集合注射	集合注射対策委員会 ……	4
平成27年度 学校飼育動物委員会活動実績	学校飼育動物委員会 ……	5
平成26年度 夜間動物緊急診療所報告	夜間診療所委員会 ……	9
平成27年度 学術委員活動報告	学術委員会 ……	11
平成27年度 学術奨励金事業	学術委員会 ……	12
平成27年度 定期購読雑誌・書籍	学術委員会 ……	12
平成27年度 学術セミナー	学術委員会 ……	13
平成26年度 人獣共通感染症調査事業報告	学術委員会 ……	15
平成26年度 傷病野生鳥獣保護活動集計	学術委員会 ……	23
平成26年度 テレフォンドクター集計結果報告書	動物愛護事業委員会 ……	24
平成27年度 長寿功労動物表彰式	動物愛護事業委員会 ……	29
平成27年度 東山動物園の長寿動物へのお祝い寄贈	動物愛護事業委員会 ……	30
平成27年度 絵本寄贈	動物愛護事業委員会 ……	31
動物フェスティバル2015なごや	動物フェスティバル実行委員会 ……	32
平成26年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 動物看護師認定試験		
	動物看護師認定委員会 ……	33
平成27年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付 ……		33
平成27年度 懇親会	福祉厚生委員会 ……	34
会員寄稿		
クレプトマニア	小島健治 ……	35
大いなる遺産	三浦隆 ……	38
平成27年度 同好会報告		
・テニス同好会 ……		40
・ソフトボール同好会 ……		40
平成27年度 名古屋市獣医師会行事 ……		41
協賛広告 ……		42
編集後記 ……		50

巻頭言

鑑札・狂犬病予防注射済票交付委託スタートに向けて

公益社団法人 名古屋市獣医師会
会長 荻 曾 敏 之

名古屋市獣医師会は、平成27年5月12日名古屋市に事業委託に係わる要望書を提出しました。その目的は狂犬病の国内侵入の脅威や予防接種率の低下に伴う現況の防疫体制では危険であることの提言と対策として予防接種率、飼犬登録率向上を目的とした事業委託を要望するものでした。

具体的な内容は、今現在名古屋市では16区の保健所で行っている新規飼犬の登録鑑札発行業務及び毎年の狂犬病予防注射実施犬に対する注射済票の交付業務を注射実施する市内各動物病院に委託することで、犬の飼主にとっては予防注射を受けた後、注射済証を持参の上保健所に交付手続きに向かっている煩雑さを解消することができ、飛躍的に市民サービスが向上し、未登録犬の減少につながるものと考えられます。数字で表すとここ数年名古屋市の狂犬病予防注射接種頭数は、約85,000頭で、そのうちの約20,000頭が4月に実施される集合注射会場において交付され、残り65,000頭が市内及び周辺の動物病院で予防注射を受けていることとなります。もしこの済票交付業務の委託を受けることについて会員病院の協力が得られれば、現在の組織率を考慮しても約4万前後の飼主(飼犬)がこの事業の恩恵を受けられることになると予想されます。

また、名古屋市においては各保健所の食品獣疫課で上記飼犬全頭の登録、鑑札・済票発行、データ入力業務を食品衛生等の日常業務の傍らこなしている現状から半数以上を会員病院で交付し獣医師会が一括入力することで市の事務費負担を効率的に削減することにも貢献できると思います。

さらに、この委託は以前より他の政令指定都市及び多くの市町村で実施されていて名古屋市のみが行われていない現実を伝えることでこの施策の重要さと先送り不可避であることを要望しました。

その後の経過及び名古屋市の対応については、平成28年2月時点、名古屋市ホームページ上で公開されているように健康福祉局の平成28年度予算要求の中に、こ

の事業委託に向けてのデータシステム改修費、鑑札・狂犬病予防注射済票交付の委託費が計上され、今後議会での予算審議～成立に向けて進めているところです。

今後、平成28年度中の実施に向けて名古屋市は4月以降データシステムの改修に入り、公益社団法人である本会は新規事業の事業区分を決定し、変更認定作業を進め愛知県公益判定委員会に申請し、変更認定を受けることで、10月1日を大筋の目途として委託事業をスタートできればと考えています。

本事業が実際にスタートしたときの委託業務の流れは、

○協力会員病院における業務

・登録済の狂犬病予防注射実施時

- ①通知ハガキの受取 ②予防注射実施 ③注射済証発行(交付する済票番号記入)
- ④注射済票交付(装着) ⑤注射料金、交付手数料(550円)の受領

・新登録犬(未登録犬)の注射実施時追加業務

- ⑥登録申請書の記入依頼 ⑦発行する狂犬病予防注射済証に鑑札番号も記入
- ⑧鑑札交付 ⑨登録料(3,000円)

・注射実施後の報告(避妊去勢手術券と同様)

- ⑩月毎に事務局に報告書、通知ハガキの提出 ⑪登録料・交付手数料の納付

○事務局の業務

- ①提出された報告書、通知ハガキを基に集計、データ入力
- ②名古屋市に集計データ報告
- ③登録料・交付手数料の納付

○名古屋市

委託料を獣医師会(事務局通して協力病院)に支払い

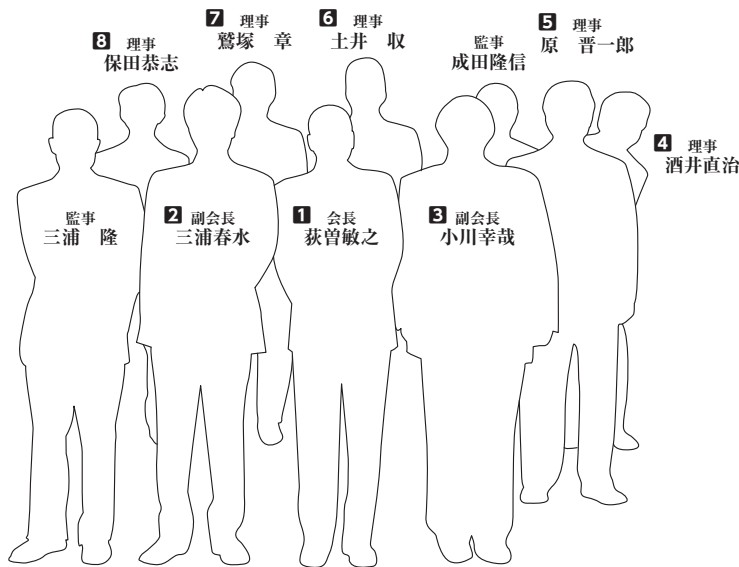
今後上記のように本事業が本格実施される平成29年度以降は、委託先である獣医師会として特に集中する4月～6月期に集計入力業務のため臨時の雇用や人材派遣の検討も必要ではないかと考えられます。

最後に、この施策は名古屋市が個々の動物病院と個別契約をする方法も考えられますが、預ける鑑札、注射済票が金券同等であることから極めて顕密な取扱いが担保された委託先でないと進められない事業であり、そういった意味で長年にわたって名古屋市の発行する避妊去勢手術補助券を取扱ってきた実績のある公益社団法人の獣医師会が名古屋市の信頼を得る唯一の団体として契約することで、本事業が実施可能になったものと考えます。会員各位には是非ともこれらの経緯を踏まえ、獣医師会の公益的な社会貢献向上のため本事業参加に御協力お願い申し上げます。

平成27年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事・監事



平成27年10月22日 名古屋市獣医師会館にて撮影



9 理事
小島健太郎



10 理事
柴田恵美子

【担当委員会】

- 1 狂犬病予防委員会/ 獣医療過誤対応/ 倫理委員会/ 制度調査委員会/ 家畜防疫委員会
- 2 情報公開(獣医師)/ 総務/ 中部大会プロジェクト/ 3 会計/ 情報公開(新規)
- 4 集合注射対策委員会/ 会館運営委員会 5 動物看護師養成事業準備委員会/ 動物看護師認定委員会
- 6 動物愛護事業委員会 7 夜間診療所委員会 8 動フェ実行委員会/ 会誌委員会
- 9 学術委員会/ ホームページ委員会 10 学校飼育動物委員会/ 福祉厚生委員会

平成27年度 狂犬病予防集合注射

集合注射対策委員会

■平成27年度狂犬病予防集合注射実施結果

1. 期間

平成27年4月6日～4月27日

延日数 112日(212会場)

出勤獣医師延人数 251人

2. 実施頭数(会員報告をもとに事務局集計)

区	H27注射頭数	H26注射頭数	前年度比頭数
千種	1,229	1,353	-124
東	580	601	-21
北	1,495	1,589	-94
西	1,287	1,397	-110
中村	1,328	1,445	-117
中	630	637	-7
昭和	683	772	-89
瑞穂	933	1,002	-69
熱田	555	597	-42
中川	2,164	2,360	-196
港	1,848	1,964	-116
南	1,725	1,892	-167
守山	1,257	1,454	-197
緑	2,215	2,425	-210
名東	1,104	1,182	-78
天白	1,149	1,281	-132
計	20,182	21,951	-1,769



平成27年度 学校飼育動物委員会活動実績

学校飼育動物委員会

全国的に飼育小屋が減少する中で、学校飼育による動物介在教育がなくなってしまうように、今年も名古屋市獣医師会の委員は縁のある小学校において、命の教育の大切さを伝える活動を行ってきました。明治時代から日本にだけある初等教育のひとつの手段である「学校飼育」。支えるのは教員だけではありません。獣医師が飼育に悩む学校を援助することで生かされる教育です。ニュースで中学生の自殺が報道される度に、小さい頃から命を大切にする教育が必要であることを感じます。

本年度は年配の会員を委員に迎え、18名の会員で活動を実施しました。8月には愛知県獣医師会との共催で文科省から講師を招き、初等教育の教員を対象に「これからの教育：アクティブ・ラーニング」の講演を開催し、多数の名古屋市教育委員会の職員に参加していただきました。

小学校生活科の「動物ふれあい教室」は定着化し、獣医師会の委員もその活動に慣れてきました。児童への飼育指導、傷病動物の治療も例年と変わらず行いました。

1. 動物ふれあい教室 7回(5校)

年月日	小学校	児童	参加獣医師 動物看護師
2015.6.23, 26	荒子小学校(中川区)	1年185名(6クラス)	13名
2015.6.24	御園小学校(中区)	1年 10名(1クラス)	2名
2015.10.20	宝南小学校(南区)	1年 67名(3クラス)	4名
2015.10.28	白水小学校(南区)	1年 47名(2クラス)	5名
2015.12.8	広見小学校(中川区)	1年 20名(3クラス)	4名

・荒子小学校1年生「動物ふれあい教室」開催

2015年6月23日、26日、中川区のジャンボ小学校・荒子小学校で児童180名(6クラス)の生活科授業において「動物ふれあい教室」を行ないました。2日に分けて開催し、飼育しているうさぎのひじきちゃんと他の小学校から借りてきたうさぎ5頭を使って、生き物の姿をよく観察し、ふれあってもらいました。軽いアレルギーのある子はマスクと手袋を着用し参加です。大声は出さない約束を忘れてしまうくらい、大興奮の1時間でした。



・白水小学校1年生「動物ふれあい教室」実施

2015年10月28日(水)5 限目

南区・白水小学校1年生3クラスで生活科授業「動物ふれあい教室」を行ないました。

港区・小碓小学校さんから3頭のうさぎをお借りして(ローズ、ココア、モカ)白水小学校の2頭(きなこ、ライオン)と5頭で子ども達は楽しくふれあいができました。この1年生はうさぎを怖がることはなく、よい時間がもてました。この小学校の教諭は理解があり、先生方に感謝します。



・宝南小学校1年生「動物ふれあい教室」開催

2015年10月20日、南区・宝南小学校で1年生の「動物ふれあい教室」を行ないました。昨年中村区・ほのか小学校に勤務されておられた先生が1年生の担当になったらやってみたくらいと思われ、転勤後実現したものでした。子ども達の嬉しそうな顔を見て先生は満足そうでした。生活科授業の中ではいろんな取り組みがある内、動物とふれあうこの機会は子ども達の心に残るものとなるようです。



・ 広見小学校 1 年生「動物ふれあい教室」

2015年12月8日、広見小学校1年生20名が「動物ふれあい教室」に参加してくれました。担任の先生といっぱいの笑顔で楽しく過ごしました。

広見小学校は児童数の少ない小学校です。先生が目が行き届くのでしょうか、元気で素直な子ども達ばかりでした。みんながうさぎさんのかわいさをきっとわかってくれたと思います。これからも動物に親しみを持って、たくさんの動物に会ってほしいです。



2. 飼育指導 13校

指導校	飼育動物	指導獣医師	指導校	飼育動物	指導獣医師
稲生小学校(西区)	うさぎ	山田	山吹小学校(東区)	うさぎ	小島健治
庄内小学校(西区)	うさぎ	柴田	上社小学校(名東区)	うさぎ	岩田
八熊小学校(中川区)	うさぎ	福田	広路小学校(昭和区)	うさぎ	松波
東海小学校(港区)	うさぎ	菅沼	南稜小学校(名東区)	うさぎ	森島(常)
明倫小学校(東区)	うさぎ	水野(雅)	白水小学校(南区)	うさぎ	大島(真)
小碓小学校(港区)	うさぎ	滝本	稲葉地小学校(西区)	うさぎ	伊藤
名城小学校(中区)	うさぎ	後藤			

3. トワイライトスクール動物ふれあい教室

年月日	内 容	テーマ	場 所
2015.4.17	犬の動物ふれあい教室	「犬となかよくなろう」	荒子トワイライトスクール
2015.6.4	猫の動物ふれあい教室	「猫となかよくなろう」	荒子トワイライトスクール
2015.8.21	ハムスターの動物ふれあい教室	「ハムスターについて知ろう」	荒子トワイライトスクール
2015.10.2	モルモットの動物ふれあい教室	「モルモットと仲良くなろう」	荒子トワイライトスクール
2015.12.4	動物ふれあい教室	「犬、猫の気持ちを知ろう」	荒子トワイライトスクール
2016.2.24	動物ふれあい教室	「犬の絵を描いてみよう」	荒子トワイライトスクール

4. 市民公開講座(愛知県獣医師会共催) 教員対象の動物介在教育

「これからの教育を考える」

日時：2015年8月10日(月)

場所：ウイंकあいち会議室

講師：田村 学 先生(文部科学省視学官)

「アクティブ・ラーニング」

参加人数：84名

(教員61名、内教育委員会指導室10名、獣医師18名、出版社他1名、県議1名、愛護センター3名)

5. 学校内負傷動物治療 (平成26年度)

年月日	小学校	診療動物	病状
2014.4.12	白水小学校(南区)	うさぎ	衰弱
2014.5.7	東海小学校(港区)	うさぎ	膀胱結石にて手術
2014.5.9	東海小学校(港区)	うさぎ	跛行
2014.5.27	東海小学校(港区)	うさぎ	斜頸
2014.7.31	楠西小学校(北区)	うさぎ	熱中症
2014.8.25	大宝小学校(熱田区)	うさぎ	角膜潰瘍
2014.8.26	南稜小学校(緑区)	うさぎ	下痢
2014.9.10	南稜小学校(緑区)	うさぎ	膀胱炎、アブセス
2014.10.8	極楽小学校(名東区)	うさぎ	衰弱、死亡
2014.12.13	鳴海小学校(緑区)	うさぎ	脳障害、死亡
2015.1.27	小碓小学校(港区)	うさぎ	外傷
2015.2.20	愛教大附属小学校(東区)	うさぎ	皮膚炎
2015.2.24	大磯小学校(南区)	うさぎ	導入の為の去勢手術
2015.2.25	城北小学校(北区)	うさぎ	去勢手術
2015.3.16	滝の水小学校(名東区)	うさぎ	結膜炎

6. うさぎの譲渡

東区・愛知教育大学附属名古屋小学校へ2頭
(児童飼育委員会に飼育指導実施)

平成26年度 夜間動物緊急診療所報告

夜間診療所委員会

今年度の夜間診療所への来院数は例年に比べ飛躍的に増加しました。これは、獣医師会員外の協力病院制度の導入による認知度のアップと診療スタッフの細かい努力の積み重ねによるものと思われます。複数のスタッフを常駐させることにより迅速かつ高いレベルの診療レベルを保つことは容易なことではありませんが、地域の獣医療を充実させていくためにこうした施設は不可欠と考えています。現在、人員不足など問題は山積しております。11年間この地域の救急医療を支えてきた診療所をさらに発展させていくためにも、こうした諸問題に取り組み地域に貢献する努力を続けてまいりたいと思います。これからもご支援をよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人名古屋市獣医師会夜間動物緊急診療所における 平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の来院状況集計

総来院件数 2533

表1. 動物種の内訳 (頭)

犬	小型犬	1274
	中型犬	260
	大型犬	85
	合計	1619
猫		632
エキゾチック	ウサギ	141
	ハムスター	37
	鳥類	50
	フェレット	21
	その他	33
	合計	282

表2. 年齢層の内訳 (頭)

犬	1歳未満	193
	1～4歳	376
	4～8歳	379
	8歳以上	669
	年齢不詳	2
	合計	1619
猫	1歳未満	134
	1～4歳	166
	4～8歳	103
	8歳以上	216
	年齢不詳	13
	合計	632

表3. 疾病分類 (頭)

消化器系	724
神経系	275
筋骨格系	265
不定愁訴	196
泌尿生殖器系	241
皮膚科	237
呼吸器系	165
緊急疾患	199
眼科	87
中毒	49
代謝疾患	16
免疫系	17
循環器系	28
内分泌系	7
感染症	6
血液疾患	13
腫瘍	5
その他	3

表4. 曜日毎来院数の内訳 (頭)

月	347
火	355
水	323
木	353
金	329
土	383
日	443

表5. 曜日毎平均来院数の内訳 (頭)

月	6.8
火	6.8
水	6.2
木	6.8
金	6.3
土	7.4
日	8.5
平均	6.9

表6. 月毎の来院件数 (頭)

2014.4	171
2014.5	211
2014.6	201
2014.7	238
2014.8	236
2014.9	254
2014.10	193
2014.11	202
2014.12	198
2015.1	219
2015.2	187
2015.3	223

表7. 来院時間の内訳 (頭)

20～21時	92
21～22時	623
22～23時	591
23～0時	500
0～1時	403
1～2時	280
2時以降	44

表8. 来院地域の内訳 (頭)

名古屋市内	1712
愛知県	728
愛知県外	93

表9. 名古屋市内の来院内訳 (頭)

昭和区	75
天白区	64
千種区	43
名東区	72
瑞穂区	96
守山区	41
緑区	137
東区	50
北区	49
熱田区	112
西区	109
南区	127
港区	136
中村区	162
中区	168
中川区	271

表10. 来院患者の内訳 (頭)

A	1013
B	464
C	235
D	821

A：名古屋市在住で名古屋市獣医師会員病院が主治医の患者

B：名古屋市在住で非会員病院が主治医の患者

C：名古屋市在住で特に主治医のいない患者

D：名古屋市外在住の患者

平成27年度 学術委員活動報告

学術委員会

学術事業は、公益目的事業の柱の一つとして不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与できるよう取り組んでいます。主な事業として①人獣共通感染症調査、②傷病野生鳥獣保護事業、③獣医師および動物看護師の卒後教育、などが挙げられます。

人獣共通感染症調査は名古屋市の委託事業として長年にわたって実施しています。人獣共通感染症は動物だけでなく人にも共通して感染する可能性があるため、獣医師の社会的ニーズの高い分野であり、人の医師との連携が重要になります。日本獣医師会も地方会に医師会との連携支援に力を入れており、すでに過半数以上の地方獣医師会が達成している状況ですので、当会においても早期に医師会との連携実現が望まれます。平成27年度は「名古屋市内で飼育されている猫のクリプトスポリジウム保有状況調査」を実施し、北里大学・伊藤直之先生を招聘し「猫のクリプトスポリジウム感染(*Cryptosporidium* spp.)」の学術セミナーを開催しました。クリプトスポリジウムは動物の消化管に寄生する原虫で、下痢を引き起こし、発生率の高い発展途上国や重症化するHIV/AIDS患者では問題視されています。国内での発生は少ないですが、汚染水による集団感染を引き起こすことがあります。人においては、*C.hominis*や牛から感染する人獣共通感染性の*C.parvum*が知られています。また、少数ではありますが犬の*C.canis*や猫の*C.felis*が人に感染することも分かっています。伴侶動物に関するクリプトスポリジウム感染状況の国内データは少なく、名古屋市の保有状況調査は今回が初めてです。今後も伴侶動物を介して多くの市民に有益な情報を発信したいと思います。なお、平成26年度「名古屋市内で飼育されている猫の糞便中のカンピロバクター属菌の保有調査」(本誌P.15-22に掲載)など過去の調査結果は、名古屋市のホームページ<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000025355.html>に掲載されていますので、ご覧ください。

傷病野生鳥獣保護事業も名古屋市から委託されている重要な事業の一つです。当会は飼育動物だけではなく、野生動物の保護や治療を獣医師の職務と考え、積極的に取り組んでいます(平成26年度の実績は本誌P.23に掲載)。

本年度も獣医師の卒後教育講習会を開催致しました(平成27年の開催実績は本誌P.13-14に掲載)。今後も実践的で魅力的なセミナーを企画しますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。講習会の開催以外にも、新規教科書や海外学術雑誌の購入(平成27年度の定期購読雑誌や書籍は本誌P.12に掲載)にも力を入れています。近年、蔵書量の増加に伴い、名古屋市獣医師会館図書室での収容スペースを確保できなくなってきました。そのため、雑誌を中心に図書室のパソコンを利用した電子ジャーナルの購入を推進しています。初心者でも利用できるマニュアルも準備していますので、ご活用ください。

公益社団法人として、獣医師や動物看護師の卒後教育だけでなく、多くの市民の方にも学術的な立場で貢献したいと考えています。今後は、本年度の事業に加え、一般市民を対象とした市民公開講座を開催する予定です。

平成27年度 学術奨励金事業

学術委員会

会員の学術・診療技術向上のために、定められた要項に従い補助金を支給した。

平成27年度は、7件の申請があり、7名に支給した。

	会員名(敬称略)	題名	学術研究団体名	発表日
1	桑原 康人	尿管ステント	日本獣医麻酔外科学会	2015/12/20
2	小島健太郎	犬の原発性腎臓腫瘍9例の臨床的特徴と治療成績	獣医学術中部地区学会	2015/8/30
3	湯木 正史	Clinical Utility of Diagnostic Laboratory Tests in Dogs with Acute Pancreatitis: A Retrospective Investigation in a Primary Care Hospital	Journal of Veterinary Internal Medicine	2015/11/20
4	永田 矩之	小動物臨床におけるフルオロキノロン耐性	獣医学術中部地区学会	2015/8/30
5	柴田恵美子	犬の移行上皮癌におけるトセラニブの効果の2例	動物臨床医学会及び動物臨床医学会雑誌	2015/11/21
6	金本 勇	重度三尖弁閉鎖不全症を引き起こした先天性三尖弁奇形に三尖弁形成術を試みたラブラドルレトリバーの1例	日本獣医循環器学会	2015/6/19
7	大野 智史	脊髄くも膜のう胞及び硬膜外肉芽腫により神経症状を発症した犬に手術を行い良好な経過を呈した1症例	日本獣医麻酔外科学会	2015/6/21

平成27年度 定期購読雑誌・書籍

学術委員会

下記、雑誌・書籍が閲覧可能です。是非、ご利用下さい。

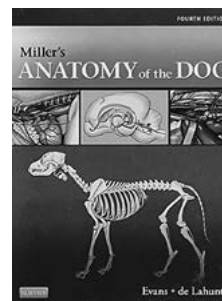
●雑誌

- Journal of American Veterinary Medical Association(米国獣医師会雑誌)
【Print+電子ジャーナル】2000年以降ダウンロード可能
- Journal of Feline Medicine and Surgery(猫内科学外科学雑誌)
【電子ジャーナル】1999年以降ダウンロード可能
- Journal of Small animal practice(小動物臨床雑誌)
【電子ジャーナル】1997年以降ダウンロード可能
- Journal of Veterinary Emergency and Critical Care(獣医救命救急雑誌)
【電子ジャーナル】2014年以降ダウンロード可能
- SURGEON・SA Medicine・Veterinary Oncology・エキゾチック診療・As(アズ)



●新規書籍

- 猫の心臓病 臨床とエビデンスにもとづく診断と治療 Feline Cardiology
著: Etienne Côté, Kristin A. MacDonald, Kathryn M. Meurs, Meg M. Sleeper
訳: 堀 泰智
出版: インターズー (2015年)
- Evans Miller's Anatomy of the Dog, 4/E
著: Howard E. Evans, Alexander de Lahunta
出版: Saunders(2012年)



平成27年度 学術セミナー

学術委員会

■名獣JARMeCセミナー JARMeCの外科手術セミナー③

講師：山崎寛文 先生 (JARMeC川崎 消化器科・泌尿器科)

「胆嚢の外科 胆嚢摘出／総胆管切開」

日時 2015年6月25日(木) 13:30～15:30

場所 名古屋市獣医師会館

当日出席 47人

■名獣JARMeCセミナー JARMeCの外科手術セミナー④

講師：山崎寛文 先生 (JARMeC川崎 消化器科・泌尿器科)

「会陰ヘルニアの外科／下部尿路の外科」

日時 2015年8月27日(木) 13:30～15:30

場所 名古屋市獣医師会館

当日出席 41人



■名古屋市獣医師会学術セミナー

講師：伊藤直之 先生 (北里大学 小動物第1内科学研究室教授)

「猫のクリプトスポリジウム感染(Cryptosporidium spp.)」

日時 2015年10月20日(火) 13:30～15:30

場所 名古屋市獣医師会館

当日出席 32人



■名獣JARMeCセミナー JARMeCの外科手術セミナー⑤

講師：福田真平 先生 (JARMeC 整形外科・脊椎外科)

「膝の疾患(前編)膝蓋骨内方脱臼の治療指針／前十字靭帯断裂の治療指針」

日時 2015年10月29日(木) 13:30～15:30

場所 名古屋市獣医師会館

当日出席 38人



■名獣JARMeCセミナー JARMeCの外科手術セミナー⑥

講師：福田真平 先生 (JARMeC 整形外科・脊椎外科)
「膝の疾患(後編)膝蓋骨脱臼の外科治療／前十字靭帯断裂の外科治療」

日 時 2015年12月3日(木) 13:30～15:30
場 所 名古屋市獣医師会館
当日出席 37人



■平成27年度日本小動物獣医師会 学術講習会(名古屋市獣医師会担当)

講師：藤田桂一 先生 (フジタ動物病院)
「歯垢・歯石除去と抜歯の適応判断とその方法」

日 時 2016年1月17日(日) 13:30～17:00
場 所 名古屋市獣医師会館
当日出席 55人



■名獣JARMeCセミナー JARMeCの運動器疾患シリーズ①

講師：福田真平 先生 (JARMeC 整形外科・脊椎外科)
「股関節疾患の診断と治療指針」

日 時 2016年2月18日(木) 13:30～15:30
場 所 名古屋市獣医師会館
当日出席 23人

■名獣JARMeCセミナー JARMeCの運動器疾患シリーズ②

講師：福田真平 先生 (JARMeC 整形外科・脊椎外科)
「手根、足根関節損傷の治療指針」

日 時 2016年3月31日(木) 13:30～15:30
場 所 名古屋市獣医師会館

名古屋市で飼育されている猫の糞便中の カンピロバクター属菌の保有調査 (名古屋市からの委託事業)

1. はじめに

カンピロバクター属菌は家畜、家禽、伴侶動物、野鳥等のあらゆる動物の腸管に分布している細菌である。近年、細菌性食中毒の原因菌として重要視されており、菌に汚染された食品や飲料水あるいは保菌動物との接触によってヒトに感染する¹。食中毒の原因は主に生や加熱不十分な鶏肉、牛肉などの食品を介して感染することが多い²。カンピロバクター属菌は現在20菌種以上に分類され、中でも人に対して病原性を示すのは、食中毒の原因菌として知られている*C.jejuni*や*C.coli*⁷のほかに、*C.lari*、*C.fetus*、*C.upsaliensis*などがある。*C.upsaliensis*や*C.helveticus*¹については、最近の培地の改良により、犬や猫が高率に保有していることが解明された⁶。

犬猫に関する国内でのカンピロバクター保菌状況は南九州地域における三澤らの報告¹があり、*C.upsaliensis*の陽性率は犬28%（95頭中陽性27頭）、猫21%（14頭中陽性3頭）であった。さらに静岡県における川森らの報告²では、カンピロバクター属菌の陽性率は犬54%（110頭中陽性59頭）、猫30%（40頭中陽性12頭）となっている。また、名古屋市では平成20年度に犬の調査を実施し、カンピロバクター属菌の陽性率3%（96頭中陽性3頭）となっている³。このように、国内での報告はまだ少なく、地域により陽性率に違いがあり、地域ごとの疫学調査は重要である。今回、名古屋市で未調査である猫を対象にカンピロバクター属菌の保有状況を明らかにすることを目的に飼養実態とともに調査した。

2. 材料と方法

- (1) 調査対象
名古屋市内(16区)の飼育猫128頭(雄69、雌59)、各区につき8頭
- (2) 調査期間
平成26年10月14日～平成26年11月7日まで
- (3) 検査材料
糞便1g
- (4) 検査委託先
宮崎大学農学部獣医学科獣医公衆衛生学研究室
- (5) 検査方法

1) 細菌学的検査

冷蔵保存されたスワブは、5%の馬脱繊維血(株式会社日本バイオテスト研究所、東京)を含むプレストン培地(関東化学、東京)で、37℃、24時間増菌培養後、その培養液の白金耳をmCCDA培地(関東化学)に画線塗抹し、37℃、2～5日、微好気性条件(75% N₂,

10% CO₂, 5% H₂, 10% O₂)で培養した。分離寒天培地上の疑わしい集落は、グラム染色、顕微鏡による形態観察を行ってグラム陰性・らせん状桿菌を確認し、単一集落を5%の馬脱絨血を含む血液寒天基礎培地No. 2(関東化学)に接種して純培養を行った。

2) 菌種の同定

菌種の同定は、PCR法により増幅した16S rRNA遺伝子の塩基配列に基づいて行った。即ち、アルカリポイル法により菌から抽出したDNAを鋳型として、16S rRNA遺伝子に特異的なプライマーセット 8F(5'-AGAGTTTGATCMTGGCTCAG-3')および15R(5'-AAGGAGGTGATCCARCCGCA-3')を用いて約1500bpの遺伝子断片を増幅した。PCR反応は、20pMのプライマー、200μMのdNTPs、0.5UのTaq DNA polymerase、1×PCR buffer、2μlのDNAを用い、最終反応量が20μlとなるように調整した。PCRの条件として、変性(94℃で30秒)、アニーリング(55℃で30秒)、増幅(72℃で1分)を30サイクルで実施した。増幅した16S rRNA遺伝子断片は、2%のアガロースゲル電気泳動によって確認した後、Illustra ExoProStar(GE Healthcare, 東京)を用いて精製した。

シーケンスのためのPCR反応および産物の精製は、ABI Prism BigDye terminator cycle sequencing ready reaction kit(Applied Biosystems, 東京)を使用して、Applied Biosystemsプロトコールに従って行った。塩基配列データの解析は3130 DNA sequencer(Applied Biosystems)を使用し、得られた16S rRNA遺伝子の塩基配列はBLAST Homology Searchを用いてDNAデータベース(GemBank)に対する照合検索を行い、菌種の同定を行った。

6. 調査対象猫の環境調査

調査対象となる猫について、以下の項目の調査を実施した。

1) 飼育動物

- ① 品種 _____
- ② 性別 オス メス
- ③ 年齢 _____ 歳
- ④ 既往歴 _____
- ⑤ ウイルス感染 FeIV FIV FIP 無 不明
- ⑥ 一ヶ月以内の抗生剤使用の有無 有 無 不明
- ⑦ 健康状態
良好 食欲不振
- ⑧ 便の状態
良好 下痢便

2) 飼育状況

- ① 飼育場所
完全室内飼育 室内、屋外を出入り 完全屋外飼育
- ② 食餌内容
ドライフード 缶詰 その他
- ③ トイレの場所
室内 屋外
- ④ 同居の動物
犬 猫 その他 無

3) 飼育者の住居

- ① 住居区 名古屋市 _____ 区
② 住 居 (一戸建 マンション・アパート その他)

4) 飼育者と飼育動物との関係(これまで経験のあるものを回答)

- ① 飼育動物に咬まれる
有 無
② 飼育動物に引っかかる
有 無
③ 飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする
有 無
④ 飼育動物と同じ寝具で眠る
有 無

7. 統計処理

調査項目を自然区分により2区分変数に変換し、陽性率について比較検討した。統計学的検討には、フィッシャーの正確確率検定を用い、有意水準を5%とした。

3. 結 果

(1)陽性結果

全128頭のうち陽性は14頭(10.9%)であった。その内訳は*C.upsaliensis*が5頭(中区1頭、北区1頭、西区2頭、守山区1頭)、*C.helveticus*が8頭(東区2頭、西区1頭、港区1頭、太白区1頭、中村区2頭、瑞穂区1頭)、*C.jejuni*が1頭(名東区1頭)であった。

陽性を示した猫の年齢の中央値は*C.upsaliensis*が0.9歳(0.3～3.0歳)、*C.helveticus*が4.7歳(0.4～14.0歳)、*C.jejuni*が0.3歳であった。

(2)調査票の集計結果

ア 品種

雑種117頭、純血種11頭(アメリカンショートヘア4頭、スコティッシュホールド4頭、チンチラ1頭、ペルシャ1頭、メインクーン1頭)であった。陽性は雑種が13頭(11.1%)、純血種1頭(9.1%)であったが、有意差は認めなかった($P=1$)。

イ 性別

雄69頭、雌59頭であった。陽性は雄が9頭(13.0%)、雌が5頭(8.5%)であったが、有意差は認めなかった($P=0.57$)。

ウ 年齢

1歳未満が27頭で陽性は7頭(25.9%)、1歳(1歳以上2歳未満)が12頭で陽性は3頭(25.0%)であった。2歳以上では陽性が4頭(3歳が1頭、7歳が1頭、13歳が1頭、14歳が1頭、4.5%)であった。1歳以下の群は2歳以上の群と比べ、陽性率が有意に高かった($P=0.001$)。

エ 既往歴

有31頭(アレルギー性皮膚炎、下腿骨骨折、カリシウイルス感染症および猫回虫感染症、肝炎、結膜炎、下痢、呼吸器疾患、骨折および肛門腺炎、自己免疫性角膜炎、消化管障害、真菌症、腎不全、大腿骨骨折、トリコモナス感染症、乳腺腫瘍、尿石症、排尿・排便不全、鼻気管炎、皮膚病)、無89頭、不明8頭であった。陽性は有3頭(9.7%)、無10頭(11.2%)、不明1頭(12.5%)であったが、既往歴の有無での有意差は認めなかった($P=1$)。

オ ウイルス感染の有無

有4頭(猫後天性免疫不全症候群ウイルス)、無64頭、不明60頭であった。陽性は有0頭、無6頭(9.4%)、不明8頭(13.3%)であったが、ウイルス感染の有無での有意差は認めなかった(P=0.69)。

カ 一カ月以内の抗生剤の有無

有23頭、無91頭、不明14頭であった。陽性は有3頭(13.0%)、無10頭(11.0%)、不明1頭(7.1%)であったが、抗生剤の有無での有意差は認めなかった(P=0.72)。

キ 健康状態

良好121頭、食欲不振7頭であった。陽性は良好13頭(10.7%)、食欲不振1頭(14.3%)であったが、有意差は認めなかった(P=0.56)。

ク 便の状態

良好116頭、下痢便12頭であった。陽性は良好11頭(9.5%)、下痢便3頭(25.0%)であったが、有意差は認めなかった(P=0.13)。

ケ 飼育場所

完全室内飼育が104頭、その他24頭(室内・屋外を出入り20頭、屋外4頭)であった。陽性は完全室内が14頭(13.5%)、その他が0頭であったが、有意差は認めなかった(P=0.07)。

コ 食餌内容

ドライフードのみ73頭、その他55頭(缶詰のみは5頭、缶詰とその他が1頭、ドライと缶詰が41頭、ドライと缶詰とその他が3頭、ドライとその他が3頭、その他が2頭)であった。陽性はドライフードのみが9頭(12.3%)、その他が5頭(9.1%)であったが、有意差は認めなかった(P=0.78)。

サ トイレの場所

完全室内119頭、その他9頭(室内・屋外5頭、屋外4頭)であった。陽性は完全室内が14頭(11.8%)、その他が0頭であったが、有意差は認めなかった(P=0.6)。

シ 同居の動物

猫91頭(猫のみ71頭、犬と猫15頭、犬と猫とその他4頭、猫とその他1頭)、その他12頭(犬のみ9頭、犬とその他1頭、その他2頭)、無25頭であった。陽性は猫が10頭(11.0%)、その他が0頭、無が4頭(16.0%)であったが、同居動物が猫の群と同居動物がいない群との有意差は認めなかった(P=0.5)。

ス 飼育者の住居

一戸建が71頭、マンション・アパートが50頭、その他が7頭であった。陽性は一戸建が7頭(9.9%)、マンション・アパートが7頭(14.0%)、その他が0頭であった。一戸建とマンション・アパート群との有意差は認めなかった(P=0.57)。

セ 飼育動物に咬まれた経験

有37頭、無90頭、不明1頭であった。

ソ 飼育動物に引っかかれた経験

有57頭、無70頭、不明1頭であった。

タ 飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする

有23頭、無104頭、不明1頭であった。

チ 飼育動物と同じ寝具で寝る

有59頭、無68頭、不明1頭であった。

陽性猫14症例について住居区、品種、性別、年齢、健康状態、便の状態、飼育場所、分離された菌について表1に示した。また調査票の集計結果のうちアースを表2に示した。

4. 考 察

カンピロバクターは家畜・家禽、伴侶動物、野鳥等あらゆる動物に分布している細菌であるが、伴侶動物である犬や猫の保有状況に関する情報は多くない。

これまで国内で行われた疫学調査から、南九州地域では猫14頭中*C.upsaliensis* 3頭(21.4%)、*C.jejuni* 1頭(7.1%)、*C.helveticus* 1頭(7.1%)であった¹。又、静岡県では、猫40頭中*C.upsaliensis* 10頭(25%)、*C.helveticus* 3頭(7.5%)であった²。今回我々の調査では、128頭の猫の糞便を調査し14頭からカンピロバクター属菌を検出した。その内訳は*C.upsaliensis*が5頭(3.9%)、*C.helveticus*が8頭(6.2%)、*C.jejuni*が1頭(0.8%)であった。分離率は文献により差が見られるが、今回の調査結果は、三澤や川森らが行った結果に比較して保菌率が低かった。この理由としては、検体を採取してから検査を行うまでに要した時間が影響していることが考えられた。人の腸炎患者で保存期間が5日以上経過した場合、カンピロバクターが検出されなかったという報告がある²。今回の調査では、採取から検査まで3～5日要したことから、検出率が低下した可能性がある。カンピロバクターは乾燥や酸素ストレスなどの環境抵抗性が弱い特徴がある⁵ため、検査には採取から検査までの迅速さが必要であろう。

カンピロバクターの陽性率と環境調査項目との関連については年齢以外では認められなかった。年齢については、1歳以下の陽性率は、2歳以上に比べて高かった。犬においては、3歳未満の犬ではカンピロバクターを含むラセン菌の分離率が5歳以上の犬からの分離率に比べ有意に高かったと報告されており¹、これらのことから、犬猫では年齢とともに抵抗力が高まる可能性が示唆された。

健康状態や便の状態とカンピロバクター保有率との関連が見られなかったことから、猫に対するカンピロバクター単独での病原性は低いと思われた。また、犬・猫の糞便には多数のカンピロバクター様ラセン菌が認められることが多い⁸ため、一般の糞便検査でカンピロバクターと診断することも困難である。犬や猫のカンピロバクターには、ほとんどの抗生物質が反応するといわれているが、耐性菌の報告もある¹。さらに、人においては、フルオロキノロン耐性カンピロバクター感染が問題となっている⁹。このような理由から、猫のカンピロバクターに対して抗生物質の使用は積極的に行うべきではないであろう。

陽性例はすべて完全室内飼育であったが、室内外での有意差は認めなかった。飼育場所については、陽性例が現在の飼い主に飼育される以前に感染したのか、室内で他の犬猫から感染したのかは不明であるが、室内外にかかわらず環境によって感染率は変わらない可能性が示唆された。

カンピロバクターに関しては、培養方法の検討によって従来の*C.jejuni*や*C.coli*以外の*Campyrobacter*属菌が動物や環境から分離されるようになり、それらの生態や分布が解明されつつあるが、まだ犬や猫に対する病原性や人への感染については不明な点が多い。名古屋市では、平成20年度に犬におけるカンピロバクターの保菌状況に関して調査した³。その結果、約1歳未満の犬96頭のうち3頭が陽性であったが、菌種に関しては未同定であった。しかしながら、菌種を同定した今回の結果や他の報告^{1,2}では、人で食中毒の原因となっている*C.jejuni*はごく少なく、*C.coli*は検出されていない。また、国内における人での感染は生や加熱不十分の鶏肉や牛レバー刺しが主たる原因食品であり、犬や猫から人へ感染したという報告は見当たらない。一方で、犬や猫では*C.upsaliensis*が多いことが指摘されており¹、今回も*C.upsaliensis*やそれと似た性状を持つ*C.helveticus*が多数を占めた。*C.upsaliensis*は人への病原性は弱いと考えられているが、海外では腸炎の原因菌として分離されたとの報告もある^{10,11}。*C.upsaliensis*が犬や猫から人へ感染したという国内の報告はないが、検査方法の違いから、*C.helveticus*とともに原因不明となる事も多いものと思われる。今回の調査でも少数ではあるが飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする飼い主もおり、動物との過度な接触(箸や口移して食べ物を与えるなど)や糞便の処理

には注意すべきである。感染防止対策をする場合、乾燥や消毒(アルコール、次亜塩素酸、塩化ベンザルコニウムなど)は非常に有効である¹²⁾。

今回、名古屋市で飼育されている猫の糞便中のカンピロバクター属菌の調査を行い10.9%の陽性率であったが、多くは病原性が低い*C.upsaliensis*や*C.helveticus*であり、若齢で陽性率が高い傾向にあった。動物が保有するカンピロバクターは人に対して影響は極めて小さいと考えられるが、市民に飼育動物との適切な関係を啓発していくことは重要である。

表1 陽性猫14症例

住居区	品種	性別	年齢	健康状態	便の状態	飼育場所	菌種名
北区	雑種	雌	3ヵ月	食欲無	下痢便	室内	<i>Campylobacter upsaliensis</i>
天白区	アメリカン・ショートヘア	雄	13歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
中区	雑種	雄	3歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter upsaliensis</i>
中村区	雑種	雌	7歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
中村区	雑種	雄	14歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
西区	雑種	雄	3ヵ月	良好	下痢便	室内	<i>Campylobacter upsaliensis</i>
西区	雑種	雄	5ヵ月	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
西区	雑種	雄	6ヵ月	良好	良好	室内	<i>Campylobacter upsaliensis</i>
東区	雑種	雌	1歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
東区	雑種	雄	1歳	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
瑞穂区	雑種	雄	1歳	良好	下痢便	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
港区	雑種	雄	5ヵ月	良好	良好	室内	<i>Campylobacter helveticus</i>
名東区	雑種	雌	3ヵ月	良好	良好	室内	<i>Campylobacter jejuni</i>
守山区	雑種	雌	7ヵ月	良好	良好	室内	<i>Campylobacter upsaliensis</i>

表2 カンピロバクターの陽性率と環境調査項目との関連

調査項目	区分	総数 (頭)	カンピロバクター属菌		陽性率 (%)	P 値
			陽性 (頭)	陰性 (頭)		
品種	雑種	117	13	104	11.1	1
	純血種	11	1	10	9.1	
性別	雄	69	9	60	13.0	0.57
	雌	59	5	54	8.5	
年齢	1歳以下	39	10	29	25.6	0.001*
	2歳以上	89	4	85	4.5	
既往歴	有	31	3	28	9.7	1
	無	89	10	79	11.2	
	不明	8	1	7	12.5	
ウイルス感染	有	4	0	4	0	0.69
	無	64	6	58	9.4	
	不明	60	8	52	13.3	
1ヵ月以内の 抗生剤の有無	有	23	3	20	13.0	0.72
	無	91	10	81	11.0	
	不明	14	1	13	7.1	
健康状態	良好	121	13	108	10.7	0.56
	食欲不振	7	1	6	14.3	
便の状態	良好	116	11	105	9.5	0.13
	下痢便	12	3	9	25.0	
飼育場所	完全室内	104	14	90	13.5	0.07
	その他	24	0	24	0	
食餌内容	ドライフードのみ	73	9	64	12.3	0.78
	その他	55	5	50	9.1	
トイレの場所	完全室内	119	14	105	11.8	0.6
	その他	9	0	9	0	
同居の動物	猫	91	10	81	11.0	0.5
	その他	12	0	12	0	
	無	25	4	21	16.0	
飼育者の住居	一戸建て	71	7	64	9.9	0.57
	マンション・アパート	50	7	43	14.0	
	その他	7	0	7	0	

*P<0.05

5. 参考文献

- [1] 三澤尚明、川島久美子、近藤房生：南九州地域の犬および猫における *Campyrobacter upsaliensis* の保菌状況調査 日獣会誌 54 707～711 (2001)
- [2] 川森文彦、有田世及、西尾智裕：腸炎患者、犬、猫および野鳥におけるカンピロバクターおよびヘリコバクターの保有状況ならびに分離法の検討 日獣会誌 57 455～459 (2004)
- [3] 名古屋市、名古屋市獣医師会：名古屋市内で飼育されている犬の“カンピロバクターの保菌状況”に関する調査 平成20年度人獣共通感染症調査委託事業 平成21年3月
- [4] 甲斐明美、横山敬子：鶏肉の汚染実態 JVM Vol.60 No.11 891～894 (2007)
- [5] 五十嵐静信：カンピロバクターをめぐる最近の話題 JVM Vol.60 No.11 889～890 (2007)
- [6] *Campyrobacter upsaliensis* 静岡県微生物検査情報 静岡県環境衛生科学研究所 第22巻 第5号 2002年6月
- [7] 伊藤武、高橋正樹：人のカンピロバクター症 JVM Vol.60 No.11 911～915 (2007)
- [8] 三澤尚明：カンピロバクター感染症 モダンメディア 51巻3号 2005
- [9] 浅井鉄夫：ニューキノロン耐性 JVM Vol.60 No.11 900～905 (2007)
- [10] Brianne A. Couturier, DeVon C. Hale, Marc Roger Couturier : J. Clin. Microbiol. November 2012 vol. 50 no. 11 3792-3794
- [11] Susan Bullman, Daniel Corcoran, James O' Leary, Brigid Lucey, Deirdre Byrne, Roy D. Sleator : FEMS Immunology & Medical Microbiology Volume 61, Issue 2
- [12] 小林妙子、菅原直子、渡辺節：カンピロバクターに対する消毒薬の効果 宮崎県保健環境センター年報 第24号 2006

平成26年度 傷病野生鳥獣保護活動集計

学術委員会

■傷病の状況・結果別保護件数

平成26年4月～平成27年3月

	傷病の状況							結果				
	衝突・転落	病気	骨折	咬傷・外傷	衰弱	その他	合計	放鳥	死亡	保護	不明	合計
平成26年 4月	1	2		2	3		8	1	2		5	8
5月	3	1	4	5	4		17	4	3	2	8	17
6月	11		2	3	4		20	5	7		8	20
7月	2		2	4	2		10	3	2	1	4	10
8月	2		1	3	2		8	3	1	1	3	8
9月	3			1	1		5	4			1	5
10月	2	1	1	3	1		8	2	3		3	8
11月	1		1	1			3		1	1	1	3
12月					3	1	4	2	1		1	4
平成27年 1月			1	4	3		8	2	1	2	3	8
2月		1		3	2		6		4		2	6
3月	1		1	2	1		5	1	1		3	5
合計	26	5	13	31	26	1	102	27	26	7	42	102

■種類別保護件数

平成26年4月～平成27年3月

	平成26年												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ドバト	4	1	1	3	3	1	1	1		1	1	2	19
キジバト		1				1							2
アオバト							3						3
ウスユキバト									1				1
カラス		3		1									4
スズメ	2	8	10	4	1					1	1	1	28
センダイムシクイ	1												1
ツグミ			1										1
ムクドリ				1	2						1		4
メジロ								1	1	2			4
オオバン												1	1
ヒヨドリ				1		1	1				1		4
アオサギ											1		1
ツバメ		1	4			1							6
アカショウビン			1										1
ヤマガラ							1						1
ヤブサメ							1						1
ゴイサギ	1												1
ミミヅク									1				1
コノハヅク							1						1
カモ								1		2			3
カワラヒワ			1										1
ツメナガセキレイ		1											1
オシドリ					1								1
カワウ												1	1
オオサギ		1											1
不明鳥		1	1		1	1							4
イタチ			1										1
タヌキ									1		1		2
ノネズミ										2			2
合計	8	17	20	10	8	5	8	3	4	8	6	5	102

平成26年度 テレフンドクター集計結果報告書

動物愛護事業委員会

1. 開設日数 **188** 日

2. 動物種別相談件数

	犬	猫	飼鳥	野鳥	エキゾチック	その他	合計
件数	133	208	16	2	11	0	370

3. エキゾチックアニマルの相談件数

ウサギ	ハムスター	リス	カメ	モルモット	フェレット	プレーリードッグ	金魚
6	4	0	0	1	0	0	0
イグアナ	アライグマ	サル	リスザル	コウモリ	モモンガ	ワラビー	ハリネズミ
0	0	0	0	0	0	0	0
スカンク	イタチ	ウーパールーパー	カエル	フクロキツネ	魚	カブトムシ	チンチラ
0	0	0	0	0	0	0	0
タヌキ	トカゲ	ヘビ	ネズミ	その他	不明	合計	
0	0	0	0	0	0	11	

4. 相談者の住所別調査

	名古屋市内	県内(市内除く)	近隣地区	遠隔地区	不明	合計
犬	82	20	10	14	7	133
猫	108	23	8	63	6	208
飼鳥	9	1	2	3	1	16
野鳥	2	0	0	0	0	2
エキゾチック	8	0	0	2	1	11
その他	0	0	0	0	0	0
合計	209	44	20	82	15	370

近隣地区…岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井

5. 名古屋市16区別の相談件数

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田
犬	7	2	8	2	2	11	4	6	0
猫	5	7	9	4	4	11	5	2	2
飼鳥	1	0	1	1	0	0	3	1	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	2	0	1	0	0	2	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	9	19	7	6	24	12	9	2

	中川	港	南	守山	緑	天白	名東	不明	合計
犬	11	4	2	0	9	4	6	4	82
猫	15	7	7	4	2	9	15	0	108
飼鳥	0	1	0	0	0	0	1	0	9
野鳥	0	0	0	1	0	0	1	0	2
エキゾチック	1	0	0	0	0	0	1	1	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	12	9	5	11	13	24	5	209

6. 愛知県内(市内除く)、近隣地区

	愛知	岐阜	三重	静岡	長野	滋賀	合計
犬	20	4	5	1	0	0	30
猫	23	1	3	3	1	0	31
飼鳥	1	0	0	1	0	1	3
野鳥	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	44	5	8	5	1	1	64

7. 遠隔地からの相談件数

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木
犬	1	0	1	0	0	0	0	1	0
猫	2	0	0	0	0	1	2	1	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	1	0	0	1	2	2	0

	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
犬	0	3	1	1	0	0	2	0	0
猫	0	2	1	3	1	2	2	1	0
飼鳥	0	0	0	1	1	0	1	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	5	2	5	2	2	5	1	0

	福井	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山
犬	0	0	2	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	21	10	0	1	0	1	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	23	10	0	1	0	1	0

	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎
犬	0	0	0	2	0	0	0	0	0
猫	0	2	0	1	0	0	2	0	2
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	3	0	0	2	0	2

	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	アジア	アメリカ	その他	合計
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	14
猫	1	1	0	1	1	0	0	1	63
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	3
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	1	1	0	0	1	82

8. 相談内容と内訳

	治療相談	一般知識	避妊・去勢	伝染病予防	行政関係	その他	合計
犬	86	16	2	8	4	10	126
猫	132	27	5	6	8	17	195
合計	218	43	7	14	12	27	321

9. 治療相談の内容と内訳

	内 科							合計
	消化	循環	呼吸	泌尿	生殖	眼	歯・口腔	
犬	21	3	4	4	2	6	4	
猫	35	1	4	37	2	7	2	
合計	56	4	8	41	4	13	6	
	内 科						合計	
	耳鼻	皮膚・爪	神経	内部寄生虫	外部寄生虫	その他		
犬	1	9	13	1	0	20	88	
猫	6	14	3	0	3	25	139	
合計	7	23	16	1	3	45	227	

	外 科				合計
	外傷	骨折	捻挫	その他	
犬	2	1	0	6	9
猫	4	0	0	3	7
合計	6	1	0	9	16

	人獣共通伝染病				合計
	皮膚真菌	狂犬病	微生物	その他	
犬	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	2	2
合計	0	0	0	2	2

平成27年度 長寿功勞動物表彰式

動物愛護事業委員会

長寿功勞動物表彰式は平成27年9月19日(土)獣医師会館2F大講堂で行われました。
名誉特別長寿猫表彰は最高齢25歳を含め10頭、特別長寿表彰は58頭、長寿表彰は104頭でした。

次 第

- 記念講演
「ネコのおはなし」
名古屋市東山動物園
園長 橋川 央 先生
- 功勞動物表彰式
(東山動物園 ペルシャヒョウ)
- 名誉特別長寿猫表彰式
- 特別長寿功勞猫表彰式
- 長寿功勞猫表彰式
表彰状と記念品の授与



【表彰長寿猫 集計結果(性別・年齢内訳)】

年齢	18才	19才	20才	21才	22才	23才	24才	25才	合計
♂	21	12	16	4	1	3	0	0	57
♀	51	20	29	6	2	4	2	1	115
合計	72	32	45	10	3	7	2	1	172

平成27年度 東山動物園の長寿動物へのお祝い寄贈

動物愛護事業委員会

平成27年度は9月21日

毎年、東山動物園で「長寿動物を祝う会」が開かれますが、それに合わせて、今年は、下記のペルシャヒョウ(名前シラツ)に、長寿のお祝いとして好物の馬肉30kgを寄贈しました。



ペルシャヒョウ

Panthera pardus saxicolor

- ・愛称 シラツ
- ・性別 メス
- ・年齢 19歳
- ・生年月日 1996年5月29日
2015年10月23日永眠
- ・来園日 1999年5月20日

一日の採食量

馬肉1kg、鶏頭6個、ささみ5本

エピソード

1996年5月29日にアメリカ合衆国のオークヒル希少動物センターで生まれたペルシャヒョウのシラツは、海を渡って1999年5月20日に東山動植物園へ来園しました。

19歳となったいまでも食欲旺盛で餌を残すことはありません。立派な毛並みも健在で、実年齢より若く見えます。

飼育員の姿を見つけると檻越しに身体を擦りつけて触ってほしがるとの甘えん坊ではありますが、環境が変わったり担当飼育員が替わったりしても気にしない性格のおかげで長生きできているのかもしれません。

平成27年度 絵本寄贈

動物愛護事業委員会



平成27年 8月10日(月)に寄贈

32年間継続寄贈しています

幼児期よりの「生命を尊重し豊かな心を育む」情操教育の一環として、名古屋市立幼保育園に今年度は15冊を一組にして10組、計150冊を寄贈しました。

毎年、名古屋市長に接見、会長より直接の手渡しを行っております。

寄贈図書

- しっぽのはたらき
- うずらちゃんのたからもの
- かばくのはるなつあきふゆ
- ともだちをたすけたゾウたち
- やっぱりおおかみ
- どうぶつ会議
- ママだいすき
- くらねこかあさん
- わにわにのおおけが
- こぐまちゃんありがとう
- すきすきはみがき
- どうぶつのおやこ
- いいおかお
- きつねのかみさま
- まいごになったぞう

動物フェスティバル2015なごや

動物フェスティバル実行委員会

動物フェスティバル2015なごやは平成27年10月11日(日)久屋大通公園久屋広場にて開催されました。今年の動物フェスティバルは午前中小雨が降りましたが、約1万9千人の来場者に恵まれました。長寿犬の表彰も無事執り行われ、表彰犬御家族、一般来場者にも楽しんで頂けたと思います。多くの来場者が訪れ好評でした。



行事	参加数
フェスティバル参加者	19,000
長寿犬表彰	93(表彰者数)
動物愛護週間の図画募集	740(応募者数)
ボーイスカウト・ガールスカウト・高蔵高校 協力	110
読渡犬猫写真展(名古屋市動物愛護センター)	450
犬のしつけ相談、動物愛護センター紹介、災害のそなえ展示(名古屋市動物愛護センター)	250
動物愛護ビンゴ(名古屋市動物愛護センター)	500
ペットフードの紹介(日本ヒルズ・コルゲート㈱、ROYAL CANIN、日清ペットフード)	1,500
動物缶バッチ、サンバイザー作り 動物クイズ、紙芝居((公社)日本愛玩動物協会)	1,300
アニマルメイクアップ(学校法人・専門学校名古屋モード学園)	120
しつけトレーニング実演、しつけ相談&ふれあい(ボンガー)	500
ポニー馬車(有いちご動物園)	208
ふれあい動物園(有いちご動物園)	690
盲導犬紹介((社福)中部盲導犬協会)	500
介助犬紹介((社福)日本介助犬協会)	600
警察犬模範演技	400
ボーイスカウトコーナー	200
ガールスカウトコーナー	200
健康相談((公社)名古屋市獣医師会)	22
マイクロチップ紹介(㈱共立製薬)	16
健康チェック、動物看護学院紹介(名古屋動物看護学院)	11
ペットと暮らすきれいなまちづくり活動紹介(名古屋市食品衛生課・保健所)	300
動物愛護推進委員コーナー(名古屋市動物愛護推進委員)	1610

各コーナー・イベント



平成26年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 動物看護師認定試験

動物看護師認定委員会

平成26年度公益社団法人名古屋市獣医師会動物看護師認定試験を、平成27年3月7日に実施致しました。

当会のホームページで広報しましたところ、名古屋動物看護学院の学生14名が受験されました。当会、動物看護師認定委員の監督のもと、動物看護に関わる筆記試験・筆頭試験を行い認定試験といたしますが、2月26日に行われた名古屋動物看護学院卒業試験の合格者は筆記試験を免除されました。

受験した14名のうち動物看護師認定委員会を経て、12名が合格者として平成27年3月11日当会理事会に報告され、動物看護師認定が承認されました。

平成27年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付

平成27年3月1日から平成28年2月29日までの寄付金合計金額は、以下のようになっています。

〔 合計金額 ￥ 111,522 〕

平成27年2月1日から平成28年2月29日までの会館野外自動販売機による寄附金合計金額は以下のようになっています。

〔 合計金額 ￥ 22,991 〕

平成27年度 懇親会

福祉厚生委員会

平成27年10月11日に開催いたしました。昨年度に引き続き、今年度も賛助会員の企業の方々に多数ご参加いただきました。

荻曾会長、山本精治日本小動物獣医師会会長のご挨拶の後、成田隆信監事の乾杯の御発声により開会しました。賛助会員の方々によるご挨拶やPRのお言葉、小島会員による手品、福祉厚生委員会委員によるビンゴゲーム大会があり、盛況な懇親会になりました。最後はこれからの公益法人としての活動や会員への要望を三浦副会長より頂戴して閉会いたしました。



クレプトマニア

小島健治

クレプトマニア (kleptomania) とは、「窃盗に熱狂すること」という意味の単語です。

私は小学校1年から4年生までの間、鶴岡君(仮名)という男の子と同じクラスでした。

彼の家が近所だったこともあって放課後よく遊びましたが、彼はやたらと自己主張が強く落ち着きが無く、いつも動き回っている子でした。小学1、2年生の頃よく遊びに行った広場の隅に廃バスが置いてあって、そのバスの屋根の上から勢いよく飛び降りることの出来るのが彼の自慢で、何度か実演して私に見せてくれました。

私が彼の家に遊びに行くこともありましたが、彼が私の家に遊びに来ることもありましたが、不思議な事に彼が遊びに来て帰るとしばしば「家の中の物が消える」という現象が起きました。漫画の単行本、テレビのヒーロー物がプリントされたシール、ソフビ人形など今思い起こすとたわいのない物ばかりで、「あれ？ シールが無くなっちゃった。どこにいったんだらう。変だなあ。」と思って一度は探すのですが、特段生活に支障をきたす物でもなかったのですぐに探すのを止めてしまい、初めの頃は物が消えるという現象を特に重く受け止めることはありませんでした。

また、この現象と彼の存在を繋げて考えることも、初めのうちはありませんでした。しかし、二年三年四年と、長く彼と付き合っていくうちに彼の癖というか迷惑な性癖が、それは彼の行為がエスカレートして目立つようになったせいもあると思いますが、鈍感な私にも認識できるようになりました。

そんなある日とても困る事態が起きました。図書館から借りた本が、貸出期限も近づいたので返そうと思って手提げ鞆の中に入れておいた物なのですが、公園で彼と遊んだ後鞆の中から忽然と姿を消したのです。無いことに気付いた私は怪しいと睨んだ鶴岡君に「君が盗ったんじゃないのか？ 盗っていったのだったら返してくれ。図書館に返さなければいけないから。」と聞きましたが、彼は「そんなものは知らない。」の一点張りで、結局その本は出てきませんでした。仕方なく図書館の職員に正直に一部始終を話したところ、心の広い職員で笑って許してくれましたので弁償せずに済みましたが、さすがにこの時は冷や汗をかきました。

小学4年生の歳末に、百貨店でちょっと変わった図柄のカレンダーを親に買ってもらいました。500円だったと記憶していますが、当時としては高価な物でした。年が明けたら飾ろうと思って丸めたまま机の上に置いておいたのですが、このカレンダーも鶴岡君が遊びに来た後忽然と姿を消しました。それからしばらくして、私と鶴岡君の共通の友人に亀山君(仮名)という子がいたのですが、その子の家に遊びに行ったところ、消えたカレンダーと同じ物が彼の部屋に飾ってあるのが目に飛び込んできました。気になったので「いいカレンダー持っているね。お母さんに買って貰ったの？」と尋ねたところ亀山君は「違うよ。鶴岡君がくれたの。」と教えてくれました。亀山君のその言葉がきっかけとなり鶴岡君が私の家から盗んで、それを亀山君にあげたという事実が判明しました。さすがに亀山君に「それほくのだから返してくれ。」とは言いませんでしたが、鶴岡君にはそのことを問い質しました。すると「そうだよ。僕が盗って亀山君にあげたの。」と、あっさりと事実を認めました。しかし続けて「だけどね、盗られる君が悪いんだよ！」と言い放ち、原因が私にあるような物言いや他人に迷惑を掛けているという罪悪感などまるでない彼の態度に、さすがに怒りがこみ上げてきました。

普通、他人の物を盗むのは恥かしい行為なので、その行為自体や盗品は隠すと思いますし、むやみに盗品を他人にあげるなどしないと思います。そこから足がつくと言いますか、自身の窃盗行為がばれるからです。しかし鶴岡君の場合は堂々と盗品を友人にプレゼントしているわけです。

「危険を冒して盗った物をわざわざ他人にあげるか？」「そもそもその物(カレンダー)が欲しくて盗んだんじゃないのか？」「欲しくもない物をわざわざ盗むか？」「でも、欲しくないから他人にあげる事ができるのだから。」など色々考えましたが、矛盾に満ちた彼の行動は、10歳そこそこの幼かった私の頭で理解できるものではありませんでした。しかし、「いくら私が文句を言っても彼の迷惑な癖はこの先も変わらない。」と推測が付きましましたので、「彼に振り回されるのはこりごり。もう付き合わない方が

いい。」と結論付けて、この一件以後教室で会っても口を利かなくなり、放課後も遊ばなくなり、彼とは疎遠になって行きました。

あれから長い年月を経て、最近になって彼の行為がクレプトマニアと呼ばれる精神疾患(心の病)の患者の行為と一致することを知りました。クレプトマニアは日本語では窃盗癖または窃盗症と訳されています。

日本版ウィキペディアでは窃盗症と表記されていて、「窃盗症とは、経済的利得を得るなど一見して他人に理解できる理由ではなく、窃盗自体の衝動により反復的に実行してしまう症状で、精神疾患の一種である。病的窃盗ともいう。(中略) この症例は、その衝動により窃盗行為の実行時に緊張感を味わい、成功時に開放感・満足感を得る。窃盗の対象物や窃盗の結果に対しては関心がなく、一般的にはほとんど価値がないものである場合も多い。盗品は廃棄・未使用のまま隠匿・他人への譲渡のほか、まれに現場へ返却される場合もある。いわゆる「利益のための窃盗」ではなく「窃盗のための窃盗」といわれており、「行動制御の障害」に含まれる同様の症例として「放火のための放火」を繰り返す放火症がある。(中略) 一般的用語として窃盗癖・盗癖ともいうが、一般に「盗癖がある」窃盗常習犯は、意志欠如型の精神病質は見いだされるものの、その動機は経済的なものであることがほとんどであり、必ずしも窃盗症と領域を一致させない。」と記載されています。

以下、主として朝日新聞 2013年1月8日朝刊記事「万引き、という病」、C.R.パートル、A.M.パートル著 羽生和紀監訳「犯罪心理学」北大路書房および河村重実著「彼女たちはなぜ万引きがやめられないのか?」飛鳥新書を参考にして、もう少し詳しくこの疾患について説明します。

職業的な窃盗常習犯いわゆる泥棒の犯行動機には、盗品の転売や使用といった経済的な理由が認められますが、一方、心の病としての窃盗症または窃盗癖の患者は商品を購入できる額の金銭を所持しながらあえてそれを使わず(代金を支払わず)、「盗みたい」という内なる衝動を抑えられずに犯行に及んでしまいます。しかも盗んだ品物そのものにはあまり執着をみせません。

朝日新聞の記事には若い女性医師の症例が紹介されています。激務な仕事や恋人との関係でストレスがたまっていた彼女は、研修医時代から大量に食べては吐くという行為(摂食障害)を繰り返して、やがて「猛勉強をして医師になり、やっもらえようになった給料を吐くためのものに使いたくない。」と思うようになり、お菓子ひとつから始まった万引きを止めることができず、職場では患者に向き合う時間を惜しまない医者として信頼され、なのにその信頼を裏切る万引き行為を自制することができず、約10年間続けた末、ある日数百円の万引きで逮捕され、裁判で執行猶予付きの有罪判決を受けています。

これは病気の一症状なのだから窃盗症と呼んでも差し支えないと素人の私などは思うのですが、この疾患専門の精神科医は窃盗癖と呼んでいますので、以下窃盗癖と表記します。女性医師の例が示しているように、この窃盗癖の特異な点として、単独に障害を患っているのではなく、他の障害を併発していることが多いという特徴があります。例えば拒食症や過食症といった摂食障害、自傷癖(特にリストカット)、アルコール依存症などを同時に患っていることが多いそうです。

原田隆之という犯罪心理学の研究者の著書に、この病気で刑務所に服役している若い女性の話が出てきます。そこには「彼女はとても裕福な家庭の子女で何不自由なく育っているにもかかわらず、たわいのないものを繰り返し万引きしてしまう。彼女の場合は、プラスチック製のおにぎりの型を何度も万引きしていた。雑貨店やスーパーでおにぎりの型が目に入ると、あたかも体が自動で動いているような感覚になり、気がつくと万引きをしているという。別にそれが欲しいわけではない。」と記載されています。

「やっはいけないという事を理屈ではわかっているけれども止められない。」という自分の情緒や行動の統制が出来なくなる衝動制御障害という精神の疾患が病の根っこにあります。

衝動制御障害とは「特定の激しい衝動に駆られて極端な行動を実行に移し、結果的にその極端な行動がさまざまな不利益を当事者や周辺者にもたらし、しかもその極端な行動を引き起こす衝動を当事者がコントロールできないため、日常生活においてもその衝動に翻弄され続け、激しい精神的苦痛や苦悩を味わうことになる。」という障害です。衝動制御障害と呼ばれる病状には窃盗癖、摂食障害、自傷行為、買い物依存症、ギャンブル依存症、アルコール依存症、薬物の乱用、抜毛癖(頭髮や体毛を抜く行為にはまること)、皮膚を引っ掻く行為、爪を噛む行為、放火癖などがあります。抜毛癖や皮膚を引っ掻く行為は当事者の不安感を緩和するという効用を持つものに対して、窃盗癖、ギャンブル依存症、買い物依存症には、ある種の報酬—買うか、盗むか、勝ち取るかした品物—を求める衝動が引き起こした行為

という共通項があると言われていています。この衝動制御障害は、男性よりも女性の方が罹患の割合が高いそうです。女性の方が抑圧される環境に置かれることが多いからと説明されています。

窃盗癖の持ち主は盗みの衝動に駆りたてられて、デパート、スーパー、コンビニエンスストア、小売店などの外出先で窃盗いわゆる万引きを繰り返します。仮に窃盗行為が成功したとしても、当人は罪悪感に苛まれ深い自己嫌悪に陥ります。逆に窃盗行為が発覚し、店員や警備員に身柄を確保された場合、初犯で盗品の数や被害額がそれ程甚大でなければ嚴重注意と賠償で済まされるケースもあるかもしれません。窃盗犯が未成年者であれば保護者が呼び出されるでしょう。しかし、たとえ万引きだとしても再犯や重犯が認められ、手口が悪質だったり反省の素振りが認められない場合、家族や保護者の呼び出しでは済まされず、職場や学校にまで連絡が行く事態にもなりかねません。そのために個人の信用を失ったり、対人関係が悪化したり、さらには家庭崩壊や失業などの事態を引き起こすことも考えられ、学生なら停学、退学を招きかねません。次々と深刻な事態に発展して行く可能性があります。

窃盗癖者にとって一番恐ろしい事態は、店から警察へと連行されて、そこでも嚴重注意では済まされず、刑事事件として起訴されて、窃盗罪で実刑判決を受けるという流れです。

窃盗癖を持つ者は窃盗行為への衝動や欲望、誘惑に抵抗することができず、抑制不能な強迫的行為を繰り返し、家族や周囲の者をも巻き込み、悪影響を周囲にも及ぼすという困った人たちです。被害を受けたスーパーやコンビニエンスストア、小売店の経営者にしてみれば、万引きは死活に関わる迷惑な行為なので、見つけ次第その者の身柄を確保して警察に引き渡せば事は終わりなのかもしれません。

それでは、行為の悪質性に依じて一定期間刑務所で刑務に服させればそれで問題は解決するのかというと、そうはならないのがこの問題の難しいところなのです。例えばある者が窃盗を働いて、警備員にその身柄が確保され警察に突き出されて、その後裁判にかけられて、初犯であり犯罪も軽微であるとして執行猶予が付いたとしても、その猶予期間中に再犯を侵してしまう確率が高いし、悪質だとして服役しても出所後に再犯を繰り返してしまう確率も高いことが分かっています。刑罰を科すだけでは何ら問題の解決にはならないのです。その者は自分の衝動を抑えることが出来ない衝動制御障害という精神疾患を患っている患者であるという認識のもと、その疾患の処置が可能な専門の医療機関で適切な治療を受けさせないことには根本的な問題の解決に至らないということです。

前述の女性医師は裁判で判決を受けた後、弁護士の勧めで窃盗癖の治療を受け始めて、入院先で同じような問題を抱える同世代の患者と出会い、彼らと話をしながら、子供の頃から「将来は医師に」「いい医学部へ」という親の期待にひたすら応えてきた自分。食べ吐きを繰り返し、「理解できない」「もったいない」と親から受け入れられない自分。つらい、悲しいと、他人には言えない自分の存在に気付いたそうです。自身の病のおおもとの原因にたどり着いたところで記事は終わっていますが、通常はそこから病を克服するための努力が始まるのだと思います。

男女比では、この疾患の場合女性の方が3～4倍程度多いそうです。そういえば、鶴岡君には4つから5つ年上の姉がいました。もしかすると、彼の行為の元凶はその姉にあったのかもしれませんが。そもそも心の病を患っていたのは姉の方であり、幼なかった彼は単に姉の影響を受けていただけ、日頃姉のしていることを、事の善悪の判断も付かずは無意識に見習っていただけなのかもしれません。だから被害を受けた私から苦情を言われても、罪悪を感じることはなかったのかもしれませんが。また、他人の気持ちや心の痛みを汲み取る共感性が彼の場合年齢相応に発達していなかったのかもしれませんが。そうは言っても、確たる証拠があるわけではなく、これらはあくまでも私の勝手な推測に過ぎません。

小学校の同窓会が開かれて、久しぶりに鶴岡君に会い、話をしました。幸いな事に、彼が周りの人達に迷惑を掛けていているという話は聞きませんでした。まじめに社会生活を営んでいるものと信じています。

参考記事及び書籍

- ・朝日新聞2013年1月8日朝刊記事「万引き、という病」 井田香奈子記者筆
- ・日本版ウィキペディア <http://ja.wikipedia.org/wiki/窃盗症>
- ・犯罪心理学 一行動科学のアプローチ C.R.パートル、A.M.パートル著 羽生和紀監訳 横井幸久、田口真二編訳 北大路書房
- ・彼女たちはなぜ万引きがやめられないのか？ 河村重実著 飛鳥新社
- ・入門犯罪心理学 原田隆之著 ちくま新書 筑摩書房

大いなる遺産

三 浦 隆

蝉しぐれ、大いなる遺産、老い、についてお話をします。

蝉しぐれ

NHKテレビドラマ藤沢周平作「蝉しぐれ」。

海坂藩(うなさか)の下級武士の父親が、お家騒動に巻き込まれて家名で切腹の命がくだり、寺で最後に、その息子(又四郎)の言葉に、「私利私欲のために人が死ぬ、私の欲のためでなく義のためにやったことだ。このことは胸にしまっておけ」と云う。

また、女優の水野真紀さんの“ふく”の役がとてもよかった。(衆議院 後藤田正純の奥さん)

特に、小室等の音楽も引き立てます。

見せ場は、又四郎が真夏の炎天下、死臭漂う遺体を引き取りに、蝉の鳴く坂道で遺体を載せた大八車で苦労していると、見かねた幼馴染みの彼女(ふく)の手助けで急な坂道を越えて行く、お互いは想いあう中でした。

他方、彼女(ふく)は江戸奉公になり、殿の御手が付いてその子供を産み、又四郎は、その子供と彼女を御家騒動から守った。

年月が経って、最後に会う分かれの場面で夏の蝉が鳴く「蝉しぐれ」、又四郎は筆頭家老になり、その殿様も亡くなり“ふく”も尼寺に入ると云う。

私は是非、テレビ作品の方を見てもらいたい、お勧めします。優秀作で賞を貰っています。

原作と違いますが「私利私欲のために人が死ぬ」この言葉が好きです。

原作では「しかし、わたくしは恥ずべきことをしたわけでない。私の欲でなく、義のためにやったことだ。おそらく反逆の汚名が残り、そなたたちが苦労することは眼に見えているが、又四郎はわたくしを恥じてはならん。そのことは胸にしまっておけ」です。

ここから、連作の映画、たそがれ清兵衛、武士の一分など一連のブームになっています。

大いなる遺産

私の父親が、前中曽根康弘首相の任期(五年)の終わりの時(昭和62年)、国家褒章の勲5等瑞宝章(国税関連)を受章した。

憲法改正に情熱を持っている中曽根氏は存命である。行革の先駆者、3社を民営化した。偉大な政治家だと思います。

また、風見鶏とも、状況に応じて自分にとって最も得である行動をとるそうです。よい意味だと解釈しています。

ガン告知

昭和天皇もそうですがガンの告知は本人(父親)にはしていない。

この時代はガンの告知は一般的ではない、今は二人に一人はガンになる時代になった。

昭和天皇と同じスイ臓ガン(十二指腸乳頭周囲腫瘍)で、それは当時ガンの中でも体の深部で早期発見が一番難しい。同じ様に通過障害で腸管のバイパス手術をして、約1年間ろくに何も食べられず「何で俺は食べられないのだろう、食べ物の夢をよく見る」と云っていた。本当に食べられなくなったらお終りです。

臨時ニュースのテレビの崩御に、衰弱して寝ている人がベッドで正座して涙していた。昭和の時代が終わったと思った。

母親の話では、最後まで自分の事(ガン)を知らないで、病気に苦しみながらよくなる希望を持って死んだと云う……

昭和64年1月7日、昭和天皇崩御。

父親は過去、褒章・大臣・長官賞を受賞し皇居に3回行って天皇に拝謁しました。直ぐに続いて、その年のお盆「蟬しぐれ」に黄泉の国(77歳)に入った。バブルの崩壊、平成不況と続く。

故人の橋本龍太郎総理に「従6位に叙する」と頂いた。(当時国務大臣)その時は海部総理大臣で歴代の総理の歴史を感じます。

私も肺ガンになり、左肺の1葉を切除した。大病したこともなくタバコも吸わないのでガンで人生の終わりを覚悟する。痛い思いをするなら自然になすがままに生きたいと思った。

人のため世のために活動して来た遺伝子、ひとのよさが兄弟と思っています。また、ガンの遺伝子も生きている以上心配しなくてはならない。

今はガンにしても高度医療には、生きて行くのにすべてお金が懸かります。

父親は一年の入院で、大学病院での大手術、民間の病院での再手術、介護など高額な医療費を残して逝ってしまった。

日頃の「他人に迷惑をかけるな」と云う言葉と、父親にたいしては同姓なのか意外とアッサリと見送れた。世の中では、財産相続で争い、遺産でなく悲惨です。

老い(長寿)

その後の母親の話、気丈な人で4人の子供がいて2人兄弟が生き残った。一人で生活していて95歳で3年前からホームヘルパー、介護師の世話になったが、2年前の春ごろから頭の中に他人か魔物が住み、電波が飛んできて、「天の声ならお金になるが」悪い奴が悪口を言い命令し、マスコミが電波で放送する。兄は親不孝なのか5回以上死んでいます。私は1回です。身内を勝手に殺し、顔見たら生きていたのかと不思議そうな顔、夜中に近所の家に飛びこんで電波の悪口の妄想の話をし、ついに火事の話までした。眼の離せない状況が続いた。

家族には、その電波が具体的にどんなものかは理解できない、ただ苦痛を伴うものと思う。

認知症か「本当に姨捨山に捨てこようと思った」これは老人施設の事だが……

色々と検査、MRIで脳を診ましたが、異常はないとのこと。今思うと「眠れない」と母は云うが、「昼間寝ては、夜は寝られない」と思う。

前から心臓が悪く肺に水が溜まって一時危ない時があったが、心臓の薬や血圧、利尿剤の服用もあるが、また、過剰な睡眠薬の副作用か、専門の精神科病院と薬を変えたら落ち着いた。驚くことにその新しい病院の血液検査では70歳の年齢だそうで、今の年齢より若いのです。

最終的には老衰の症状が戻り、救急車で運び意識なく呼吸不全(2007年)にて亡くなった。

母親にたいしては大変後悔している。精神的な支えでもあったが、本当に親孝行したいと思っても親なしと云う。一人でさびしい思いをさせた。涙が出て来た。

超高齢社会になって親の介護のために仕事を辞めるなど、介護離職と云う。家族の負担が益々増える。私も生きた親の年齢に近づいてきた。世代交代で自分の人生を他人の世話にならない生き方が望ましいが、肉体的な不安が募ります。

また、薬漬けの老人は介護には特に注意が必要です。

母親の遺産から社会に役立つように、兄弟で約1000万円位を獣医師会(100万円)もそうですが他の団体にも寄付をさせて貰いました。

私も獣医師になって大きな軌道修正をした。卒業後、家畜防疫の県職から小動物臨床に向った。今考えると動物臨床も高度化して人の医療技術を追っかけています。

昨年、テレビでアメリカの女性獣医の講演を何となしに見たが、人間も動物である。動物の病気が人の医学の発展に結びついた。獣医師と医師が協力すべき時代になった。獣医師の役割が依り重要だと云っていた。

今まで評価が小さかったが、2015年の大きなニュースは、イベルメクチンが画期的な薬で、大村智氏(ノーベル賞の医学生理学賞)を受賞。米製薬大手メルクと共同研究で生まれた。日本の土壌(静岡のゴルフ場)から生まれた。最初は動物薬(フィラリア予防、疥癬、寄生虫薬として導入(1981年)、人間の薬として製品化(1987年)された。多くの病気(熱帯)に使える事が示されています。人類の貢献度は大きい。

平成27年度 同好会報告

テニス同好会

代表 桑原康人

今年も暖かい時期は休眠していましたが、寒い中どうにか2回行いました。来年度こそはもっと多く開催したいと思いますので、その節はより多くの方のご参加をお願いいたします。初心者の方、スタッフの方も大歓迎です。

よろしくお願いいたします。

●開催日

①平成28年1月29日(金)

東山テニスセンター

野外コート / 12:30 ~ 雨のため中止

室内コート / 14:30 ~ 16:30

②平成28年3月11日(金)(予定)

東山テニスセンター

野外コート / 12:30 ~ 14:30

室内コート / 14:30 ~ 16:30

参加者 / 柴田博人、鈴木直弘、桑原典枝、
鷺塚 章、桑原康人



ソフトボール同好会

代表 鈴木克弥

チーム創設10年目のソフトボール同好会ですが、今年も何とか開催する事ができました。残念ながら今年度の開催もわずか2日となりました。会場を熱田神宮公園にしましたので、市獣の先生方には参加しやすくなったのではと思います。

スローピッチルール(山なりの打ちやすい投球)でやっていますので打撃を存分に楽しめ、日頃の運動不足解消、ストレス発散の良い機会となっています。会員は随時募集しておりますので、興味のある方は鈴木克弥(mail@makinoike.com)までご連絡下さい。

●活動記録

第1回 VS 愛知県獣医師会交流戦

5月13日(日) 17:00~21:00

熱田神宮公園

第2回 VS 愛知県獣医師会交流戦

9月13日(日) 17:00~21:00

牧野が池緑地公園



平成27年度 名古屋市獣医師会行事

4月4日 ～25日	狂犬病予防集合注射事業	10月29日	名獣JARMeCセミナー 演題：『膝の疾患(前編)』 ・膝蓋骨内方脱臼の治療指針 ・前十字靭帯断裂の治療指針 講師：福田 真平 先生(日本動物高度医療センター整形外科・脊椎外科 埼玉動物医療センター整形外科)
5月31日	名古屋市獣医師会 定時総会		
5月31日	名古屋市獣医師会 50周年記念祝賀会		
6月25日	名獣JARMeCセミナー 講師：山崎 寛文 先生(日本動物高度医療センター・川崎 消化器・泌尿器科) 演題：『胆嚢の外科』 ・胆嚢摘出(胆嚢粘液嚢腫・胆嚢炎) ・総胆管切開(総胆管結石)	12月3日	名獣JARMeCセミナー 演題：『膝の疾患(後編)』 ・膝蓋骨脱臼の外科治療 ・前十字靭帯断裂の外科治療 講師：福田 真平 先生(日本動物高度医療センター整形外科・脊椎外科 埼玉動物医療センター整形外科)
8月10日	動物優良図書絵本(15冊を10組)名古屋市立幼稚園に寄贈	1月25日	日本小動物獣医師会学術講習会(名古屋市獣医師会担当) 演題：歯垢・歯石除去と抜歯の適応判断とその方法 講師：藤田 桂一 先生(フジタ動物病院)
8月27日	名獣JARMeCセミナー 演題：『陰陰ヘルニアの外科』『下部尿路の外科』 講師：山崎 寛文 先生(日本動物高度医療センター・川崎 消化器・泌尿器科)	2月18日	名獣JARMeCセミナー JARMeCの運動器疾患シリーズ① 演題：股関節疾患の診断と治療指針 講師：福田 真平 先生(日本動物高度医療センター整形外科・脊椎外科 埼玉動物医療センター整形外科)
9月19日	長寿功勞動物表彰式 ・記念講演 ネコのおはなし 名古屋市東山動物園 橋川 央 園長 ・功勞動物表彰式 東山動物園 ベルシャヒョウ(19歳) 名誉特別長寿猫(10頭) 特別長寿功勞猫(58頭) 長寿功勞猫(104頭)	3月18日	名古屋市獣医師会 臨時総会
9月21日	東山動物園のベルシャヒョウ(19歳)に長寿のお祝いとして馬肉30kgを寄贈しました	3月18日	名古屋市獣医師政治連盟 総会
10月11日	動物フェスティバル2015なごや(久屋大通公園)	3月31日	名獣JARMeCセミナー JARMeCの運動器疾患シリーズ②(予定) 演題：手根、足根関節損傷の治療指針 講師：福田 真平 先生(日本動物高度医療センター整形外科・脊椎外科 埼玉動物医療センター整形外科)
10月11日	親睦会：会場『草楽』		
10月20日	名古屋市獣医師会学術セミナー 演題：猫のクリプトスポリジウム感染 (Cryptosporidium spp.) 講師：伊藤 直之 先生(北里大学 小動物第1内科学研究室)		

犬用慢性心不全用ピモベンダン製剤

ワンちゃんへ、そして、
ペットオーナーへの配慮がうれしい。



【包装】50錠（10錠×5シート）

PimobetHeart®

美味しくて与えやすい ブリッジパラダブル®錠

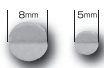
簡単投与

ブリッジ錠の採用で簡単に分割でき、投薬時のストレスを軽減します。



小さく、美味しい

従来品に比べ、小さい錠剤になりました。バスター錠、クリア錠と同じく、犬が好むフレーバーです。



高品質な日本製

保存性の良い、高防湿のPTP包装です。投薬期間に応じた処方が可能です。

動物用医薬品 要指示 指定

ピモベハート®錠 1.25 ピモベハート®錠 5

販売業者
共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

製造販売業者
三宝製薬株式会社
福島県白河市大信下新城学東区2-5

開発元
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町11-133-1

名古屋市獣医師会 会員の皆さまへ



動物病院経営におけるさまざまな経費をカードで決済。
法人名義口座からの引き落としとして、一括管理ができます。

ご入会で、もれなくUCギフトカード
6,000円分プレゼント

2016年6月30日(木)まで

SAISON PLATINUM BUSINESS AMERICAN EXPRESS® CARD

医薬品や医療器具器械の 購入にも

出張費・飲食費だけでなく、
医薬品や医療器具器械の購入など、
ビジネスユースに対応できる、
ゆとりのご利用可能枠を設定
させていただきます。

ビジネスカードだけの 年会費優遇プログラム

年間200万円以上ご利用
いただくと、次年度年会費を
10,000円(税抜)に優遇させて
いただきます。
通常年会費20,000円(税抜)


永久不減ポイントは カードご利用分のお支払いに

カードのご利用で、有効期限の
ない「永久不減ポイント」が
貯まります。
貯まったポイントはカードご利用
代金のお支払いに使えます。

ほかにもプラチナカードならではのサービスをご用意しております。

■24時間年中無休「専任コールセンター」 ■従業員様のための「追加カード」 ■「海外、国内空港ラウンジサービス」など



スマホ・タブレットでクレジットカード決済。  Coiney

■導入・月額費用無料 ■決済手数料は業界最低水準の3.00%

※スマートフォン/タブレットのキャリアを問わずご利用いただけます。詳しいご案内は、
下記URLまでお問い合わせください。

app.coiney.com/a/nagoyajuui      

●お問い合わせ先

株式会社クレディセゾン 東海支店 052-582-0960 (9:00-17:30 1/1休み) 担当:三輪・中俣・中西

※医薬品や医療器具器械のカード決済の可否につきましては、上記までお問い合わせください。

※このカードは株式会社クレディセゾンが発行・運営しています。「アメリカン・エクスプレス」はアメリカン・エクスプレスの登録商標です。株式会社クレディセゾンはアメリカン・エクスプレスのライセンスに基づき使用しています。
※本紙記載の内容は2016年2月1日現在のものです。変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。



一つの尊い命

ひと昔前、ペットの命はとても軽く見られ、お経をあげてもらったこともなく土に埋められたり、ゴミとして処理されることが一般的でした。しかし最近では、ペットを一つの尊い命家族の一員としてとらえ、葬儀も人間と何ら変わらないものを望まれる方が増えてきています。

同じように、生ある間、愛しい子に少しでも永く幸せな生涯を送って欲しいと望んでいます。当山ではペットを亡くされた際には、「死亡診断書」をかかりつけの先生にお願いし、一つの尊い命として、人間同様の扱いをしてもらえるように努めております。

また、ペットの地位向上の為、賛同して下さる先生方の病院を 当山にてご紹介もしています。

一つの大切な命として親身に対応して下さる良い先生方と出会い、その子の生涯を、一緒にサポートしていきたいと、当山は考えております。

あなたの手で愛する子を幸せへと導いてあげませんか。



総本山

長楽寺動物霊園

☎052-811-6036

〒457-0014 名古屋市南区呼続 4-13-18

<http://www.chourakuji.org>

DSファーマアニマルヘルス



もっとそばへ。もっとさきへ。



DSファーマアニマルヘルスの 主な小動物用製品

■ さまざまな病気の食事管理に対応する特別療法食

**ヒルスの
プリスクリプション・ダイエット**

■ 米国の獣医師が自分のペットのために選んだNo.1フード *DS米国TVS調べ*

**ヒルスの
サイエンス・ダイエット**

**ヒルスの
サイエンス・ダイエット(プロ)**

■ 犬用消化管運動機能改善剤

プロナミド錠5mg

(動物用医薬品)

■ 犬・猫用ニューキノロン製剤

ビクタスS 注射液5%

(動物用医薬品) (特許)

■ 犬・猫用ニューキノロン製剤

**ビクタスS S錠 10mg・20mg
40mg・80mg**

(動物用医薬品) (特許)

■ 犬・猫用ニューキノロン外用剤

ビクタスS MTクリーム

(動物用医薬品) (特許)

■ 犬用慢性心不全改善剤

アピナック錠6mg/12.5mg/25mg

(動物用医薬品) (特許)

■ 犬用鎮静・鎮痛剤

コンセーブ錠25mg/100mg

(動物用医薬品) (特許)

■ 犬骨関節炎症状改善剤

カルロロフェン・ベド注射液

(動物用医薬品)

■ 犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤

イベルメック DSP

(動物用医薬品) (特許)

■ 動物用吸入麻酔剤

イソフル

(動物用医薬品) (特許)

■ 動物用吸入麻酔剤

セボフロ

(動物用医薬品) (特許)

■ インターフェロンの製剤

インターベリ-α

(動物用医薬品)

■ 抗炎症ステロイド高吸収剤

ステロップ®

(動物用医薬品)

■ 犬細菌性結膜炎、角膜炎、

眼瞼炎、夏秋腫、外耳炎治療剤

ロメワン

(動物用医薬品) (特許)

■ 非ステロイド性抗炎症薬製剤

デアロース

(動物用医薬品)

■ 犬老年性初発白内障薬進行防止剤

ライトクリン

(動物用医薬品)

■ 犬猫角膜炎薬治療剤

パビティン

(動物用医薬品)

■ 動物用点眼・清拭剤

ワンクリン

(動物用医薬品)

DSファーマアニマルヘルス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7

<http://animal.ds-pharma.co.jp>

お客様相談窓口

☎ 0120-511022 (平日: 9:00~18:00)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

動物たちの健康を、技術と品質で支えていく

日生研は、先進のバイオテクノロジーを取り入れた、
動物たちの健康を支える各種製品をラインナップしています。



日生研ニューカッスル生ワクチンS
日生研C-78・IB生ワクチン
日生研MI・IB生ワクチン
ガルエヌテクトS95-IB
日生研NB生ワクチン
ガルエヌテクトCBL
日生研NBBAC不活化ワクチン
日生研NBBEG不活化オイルワクチン
日生研コリーザ2価ワクチンN
日生研ACM不活化ワクチン
日生研EDS不活化ワクチン
日生研EDS不活化オイルワクチン
日生研MG不活化ワクチンN
日生研ILT生ワクチン
日生研IBD生ワクチン
AE乾燥生ワクチン
日生研穿刺用鶏痘ワクチン*
日生研乾燥鶏痘ワクチン*
日生研鶏コクシ弱毒3価生ワクチン(TAM)
日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca)



日生研ARBP混合不活化ワクチンME
日生研AR混合ワクチンBP
日生研ARBP・豚丹毒混合不活化ワクチン
日生研豚APM不活化ワクチン
日生研豚APワクチン125RX
日生研MPS不活化ワクチン
日生研日本脳炎生ワクチン
日生研日本脳炎TC不活化ワクチン
日生研PED生ワクチン
日生研TGE・PED混合生ワクチン
日生研グレーサー病2価ワクチン
日生研豚丹毒生ワクチンC
日生研豚丹毒不活化ワクチン



日生研日本脳炎TC不活化ワクチン
馬鼻肺炎不活化ワクチン「日生研」
日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン
日生研馬口タウイスル病不活化ワクチン
日生研馬JIT3種混合ワクチン08
日生研馬インフルエンザワクチン08
破傷風トキソイド「日生研」
エクエヌテクトERP



日生研狂犬病TCワクチン
(共立製薬株式会社販売です。)



オーシャンテクトVNN*



アカバネ病生ワクチン「日生研」
日生研牛異常産3種混合不活化ワクチン
ポビエヌテクト5

*印以外のワクチンは要指示医薬品です。獣医師の処方せん・指示により使用して下さい。



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町 9-2221-1

<http://www.jp-nisseiken.co.jp>

0120-31-5972

“京都微研”のペット用ワクチン・診断薬 動物用医薬品 劇

“京都微研” キャンイン-11*

ジステンパー・伝染性肝炎・伝染性喉頭気管炎・
パラインフルエンザ・バルボ・コロナ・レプトスピ
ラ病(コペンハーゲニー・カニコーラ・ヘプトマデ
イス・オーストラリス・オータムナリス)混合ワクチン

“京都微研” キャンイン-9ⅡSL*

ジステンパー・伝染性肝炎・伝染性喉頭気管炎・
パラインフルエンザ・バルボ・コロナ・レプトスピ
ラ病(コペンハーゲニー・カニコーラ・ヘプトマデ
イス)混合ワクチン

“京都微研” キャンイン-6ⅡSL*

ジステンパー・伝染性肝炎・伝染性喉頭気管炎・
パラインフルエンザ・バルボ・コロナ混合ワクチン

“京都微研” キャンイン-レプト5*

犬レプトスピラ病(カニコーラ・コペンハーゲニー・
ヘプトマデイス・オータムナリス・オーストラリス)
不活化ワクチン

キャンイン-CPV/GIAキット

犬パルボウイルス感染症・
ジアルジア症診断用金コロイド標識抗体反応
複合キット

キャンイン-フィラリア・キット

犬糸状虫症診断用キット

狂犬病ワクチン-TC*

狂犬病組織培養不活化ワクチン



“京都微研” フィライン-7*

猫ウイルス性鼻気管炎・
猫カリシウイルス感染症3価・
猫汎白血球減少症・
猫白血病(組換え型)・
猫クラミジア感染症混合(油性
アジュバント加)不活化ワクチン

“京都微研” フィライン-6*

猫ウイルス性鼻気管炎・
猫カリシウイルス感染症3価・
猫汎白血球減少症・
猫白血病(組換え型)混合(油性
アジュバント加)不活化ワクチン

“京都微研” フィライン-CPR*

猫ウイルス性鼻気管炎・
猫カリシウイルス感染症・
猫汎白血球減少症混合(油性
アジュバント加)不活化ワクチン

“京都微研” フィライン-CPR-NA*

猫ウイルス性鼻気管炎・
猫カリシウイルス感染症3価・
猫汎白血球減少症混合ワクチン

*は要指示医薬品




株式会社 微生物化学研究所

〒611-0041 京都府宇治市横島町24-16番地
TEL:0774-22-4519(営業) FAX:0774-22-4568(営業)
URL: <http://www.kyotobiken.co.jp>

明日の医療と健康を
支えるチカラ

医療用医薬品、臨床検査用試薬、動物用医薬品、医療機器、
ワクチン、衛生材料、血清、等の総合卸販売

 医薬品卸売業
株式会社 ファイネス

[本社 / 金沢支店] 〒920-0295 石川県金沢市大浦町ハ55番地 TEL 076(239)0032 FAX 076(239)0092
[名古屋支店] 〒465-0092 愛知県名古屋市長区社台3丁目179番地 TEL 052(774)2638 FAX 052(774)2940
[支店] 小松支店・七尾支店・富山支店・高岡支店・黒部支店・福井支店・敦賀支店
[営業所] 高山営業所・富山営業所・金沢営業所・新潟営業所・三重営業所・豊橋営業所

動物病院の設計・開業コンサルティング

動物病院の新築・リフォーム

動物病院専門の設計事務所として、何件もの動物病院に
携わった知識と経験であらゆるご相談にお答えします。



- ①開業コンサルティング
開業計画書・建物プラン作成。立地調査・売上予測。
- ②土地探し、土地調査のお手伝い。
当社グループ不動産会社による不動産評価・不動産仲介。
- ③資金調達・資金計画・事業計画
融資条件交渉・事業計画書作成。
- ④病院設計・リフォーム相談
「はやる病院」「高度医療に対応した病院」で
デザインも重視して提案。
- ⑤工事監理
建築主に代わり、建築申請・入札・予算管理
見積書チェック・施工図チェック・工事の検査。
- ⑥開業支援
将来がイメージできる「堅実な経営」の指導。
節税提案・雇用契約のアドバイス。
HP作成・広告・税理士・社労士・弁護士の紹介。
- ⑦動物病院の売買・M&A・事業承継・相続税相談。
遺産分割協議のサポート。


一級建築士事務所 株式会社

 TAC設計室

名古屋市東区筒井3-17-5
TEL 052-932-1156

<http://www.kktac.jp>

瞳は未来を見つめてる。



動物用医薬品 製造販売
ZENOAQ **日本全薬工業株式会社**

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

名古屋ペット霊園

主宰 宝泉寺



- ◆ 葬儀・火葬・供養を承ります。
- ◆ 病院までお引取に伺います。

〒468-0058 愛知県名古屋市天白区植田西 3-811
TEL : 052-806-0194 HP : <http://hosen-ji.jp>


◆ 電話対応時間 7:00~22:00 ◆
◆ 開門受入時間 14:00~22:00 ◆

慈妙院 動物霊園

31年の伝統と信頼




〒487-0021 愛知県春日井市東神明町 479
TEL : 0568-51-1059 HP : <http://www.jimyouin.or.jp>



ねこちゃんの炎症マーカーは
SAAを測定します
ご安心ください

シニアは
T4 GA CRP
1セット♪



健診といえはモノリス
モノリスといえは「健診シニア」

(株)モノリス東海営業所
名古屋市名東区上社 4-57-5
第2フェアモント103
TEL: 052-709-6170

医薬品・動物薬品・検査機器
医療のトリプルメリットを追求する

 **中北薬品株式会社**

松軒支店 (052) 935 - 4636
豊橋支店 (0532) 54 - 9151
岡崎支店 (0564) 21 - 7211

3か月持続型チュアブルタイプ
犬用ノミ・マダニ駆除薬(フルララネル)



ブラベクト錠 BRAVECTO[®] 動物用医薬品



新発売

株式会社インターベツト 〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
TEL 03-6272-0860 FAX 03-6238-9080

動物病院 設計設備

 **有限会社 メディカル技研**

〒487-0034

愛知県春日井市白山町3-19-15

TEL (0568) 52-0138

<http://www.medical-giken.com>



- 動物用医薬品
- 動物用フード
- 各種医療機器
- 院内消耗品
- オリジナル輸入製品
- プレミアム・フード「フリント・リバー・ランチ」
- 国内外メーカーのクリニック推奨品 各種

ペットと人との健康で豊かな未来に貢献いたします

同和化学株式会社

本社

〒462-0005 名古屋市北区池花町300番地
TEL 052-901-3101 FAX 052-901-3104

岐阜支店

〒500-8302 岐阜市本郷町5-9
TEL 058-253-6106 FAX 058-253-6219



株式会社 **アスコ**
<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
より動物の健康から共生環境づくりに貢献します

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白塚町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

支店

- ・東日本支店
埼玉、群馬、栃木、茨城、群馬、東京、大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
静岡、愛媛、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、岡山、山口、米子、岡山、大阪、京都

編集後記

私が‘あゆみ’を担当させて頂いてから3年が経ち、新年になると『また今年も‘あゆみ’の季節がやって来た。』とまるで春が来たかのように思うようになりました。会誌委員会を担当させて頂いた初年度は会誌委員の経験もありませんでしたので、あゆみってどうやって作るの？から始まりましたが、委員の皆様、事務局の皆様、そして印刷会社の担当の方にご協力頂き、今では編集会議、原稿集め、編集とかなりスムーズにできるようになってきたと思います。そんなあゆみの編集作業、まあ慣れてくるとそんなに目新しいこともなく楽しい物でもたいしてないのですが、私がひとつ楽しみにしているのが表紙の写真です。あゆみを担当させて頂いてから毎年写真を克弥先生にお願いしているのですが、今年は何の鳥の写真？どんな写真なんだろう？ととても楽しみなんです。今年の写真もメールで送られて来たファイルを見た時は、「マジすごい！」の一言。期待をはるかに上回る素晴らしい写真で、春らしくまたなんとも可愛らしい写真で感動でした。ほんとどうやったらこんなすごい写真撮れるの？どこにこんな鳥いるの？って感じで毎年驚かされます。

今年は50周年記念誌、あゆみ-50周年特別記念号-そして通常のあゆみと3冊の冊子を作成させて頂きましたが、どれもより良い冊子になるように、また中身の濃いものになるようにと思いを込めて作らせて頂きました。また、会員の皆様には「このような内容の物を掲載してはどうか」などご意見頂ければと思いますので、よろしく申し上げます。

あゆみは公益社団法人名古屋市獣医師会の活動を紹介させて頂く会報ですが、名古屋市獣医師会はほんとに多くの活動に取り組み、動物のため、市民のため、そして獣医師や動物看護師のために活動しています。そして今後もこの名古屋市獣医師会の活動を継続していかなければなりません。今後も皆様の会へのご協力を賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、本会誌を作成するに当たり多くの先生に原稿をお書き頂きました。事務局の方には多くの資料をご用意頂きました。また、会誌委員の方には原稿集めや校正をして頂きました。皆様が会誌の趣旨をご理解下さり、お忙しい中でも快くお引き受けて頂きました事に深く感謝致します。

会誌委員会 担当理事 保田 恭志

あゆみ Vol.51 No.2

発行日 2016年3月18日

発行 公益社団法人 名古屋市獣医師会
名古屋市中区大須4丁目12番21号
TEL：052-263-0700
FAX：052-264-9381
<http://www.nagoyavet.jp/>

会誌委員会 委員長 保田恭志
小島健治 児玉順子
鈴木克弥 夏目里枝子
森島常統

印刷 株式会社ワコーヴィスコム
名古屋市中区木津根町61番地
TEL：052-915-0681
FAX：052-915-0671

獣医師の皆さまとご家族に 大きな安心を!!

公益社団法人日本獣医師会
獣医師福祉共済事業



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

一家の大黒柱の獣医師ご本人が病気やケガで働けなくなったら・・・

ご本人やご家族が病気やケガで入院や通院をされたら・・・

動物病院の従業員の皆さまがお仕事中にケガをされたら・・・

動物病院の什器・備品・医療機器が偶然な事故で損害を被ったら・・・

病気やケガに備える

所得補償保険

ご本人やご家族(就業者)が
病気やケガで働けなくなった
ときの補償
(支払対象外期間7日の後
最長1年間補償)

団体長期障害 所得補償保険

ご本人やご家族(就業者)が
長期に渡り、病気やケガで
働けなくなったときの補償
(支払対象外期間372日の後
最長70歳まで補償)

新・団体医療保険*

ご本人やご家族が
病気やケガにより
入院・通院・手術
したときの補償

*医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険

傷害総合保険

ご本人やご家族が
ケガにより
入院・通院・手術
したときの補償

動物病院従業員補償 傷害総合保険

動物病院の従業員が
仕事中にケガをして
入院・通院・手術
したときの補償

動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

動物病院 「什器・備品・医療機器」総合補償 (ショップオーナーズ保険)

下記損害に関する補償がセットされています。

- ①火災・爆発・風災・盗難・破損等の「偶然な事故」による動物病院の動産(設備・什器・備品等)の損害
- ②火災・爆発・破裂などの事故による動物病院やユーティリティ設備の損害による動物病院の休業損害
- ③火災・爆発・風災・盗難・破損などが原因で建物オーナーに対して負担する賠償責任
(③は借用店舗の場合に補償対象となります)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。



保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 **株式会社安田システムサービス**
〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 **損害保険ジャパン日本興亜株式会社**
団体・公務開発部第二課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL:03-3593-6453 FAX:03-3593-6751
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)